

Defending Champion
Jong-Duk Kim



ASIAN TOUR
KIRIN OPEN GOLF

1997/98 ASIAN TOUR
¥100,000,000 PURSE
APRIL 23-24-25-26, 1998 IBARAKI GOLF CLUB EAST COURSE

新鮮な明日へ
KIRIN

うまい!キリン



これが、飲みごたえ。
キリンラガービール

飲酒は20歳になってから。

キリンホームページアドレス <http://www.kirin.co.jp> キリンビール株式会社

Callaway
GOLF

マルチレイヤー・コンセプト搭載。
ビッグバーサ・アイアンJV200

新基準デビュー。

ビッグバーサ・アイアンJV200
BIG BERTHA IRONS
JV200

マルチレイヤー・コンセプト。それは、バックフェースの肉厚をエリアごとに変え、理想の重量配分を実現すること。ビッグバーサ・アイアンは、新しく生まれ変わりました。打ちやすさのための、低重心と深い重心深度。全番手がほぼ同じ感覚でスイングできる、番手ごとの重量配分。ボールのつかまりを良いた、従来よりもヒール寄りの重心位置。飛距離。方向性。弾道。アイアンの新しい基準は、振りやすいから打ちやすい。

10本セット(I#3~I#9, PW, AW, SW) ¥220,000
I#1, I#2, LW 1本 ¥22,000
(価格はすべてメーカー希望小売価格、消費税別)

保証 日本国内仕様クラブには保証書が付いています。

日本国内仕様クラブには保証書が付いています。

保証書が販売するキャロウェイゴルフクラブは、日本人ゴルファーに合わせて設計された日本国内仕様で、米国キャロウェイゴルフカンパニーで製造され、住友ゴム工業株式会社が販売しております。ご購入の際には保証書が付いていることをお確かめの上、お求めください。

新発売

BIG BERTHA
IRONS

住友ゴム工業株式会社

Ibaraki Golf Club
Kirin Open Golf
April 23-24-25-26, 1998

キリンオープンの前身、読売プロゴルフ選手権がスタートしたのは46年前の1952年。以来、半世紀にも及ぼうとする歴史の中、大会が目指してきたのは日本とアジアとの架け橋になることだった。国内で最も国際色豊かな顔ぶれとなるこのキリンオープン、内外のトッププレーヤーによって激しい優勝争いが繰り広げられたとき、また今年も新たな架け橋を築くことになる。



Contents

あいさつ	4
大会役員リスト	7
大会実施要項・賞金リスト	8
主な出場選手紹介	11
'97大会ハイライト	20
ディフェンディングチャンピオン	25
倉本昌弘の驚異のコースレコード	28
佐藤正一プロのホール紹介	32
コースレイアウト	36
アジアンツアー	38
野上貴夫物語	40
チャリティ&ボランティア	43
東コースのデータは語る	47
大会の変遷	48

winning to a



大会会長
財団法人 日本ゴルフ協会
会長
Tournament Chairman

President
Japan Golf Association
Masaharu Gotoda

後藤田正晴

本年度国内公式戦の第1戦として、キリンオープンゴルフ選手権競技が開催の運びとなりましたことは、まことに喜びに堪えないところであります。

本競技は、1997/98アジアンツアーフinalを飾る競技にふさわしく各国大会の優勝者と、本年度アジアンツアーリーダー賞金ランク上位選手に、国内シード選手とトップアマチュアが加わるアジアゴルフ界のメジャートーナメントとして位置づけられています。

アジアンツアーや転戦してきた選手にとっては、ゴール目前の競技として、国内の選手にとっては今年1年を占う公式競技とあって素晴らしいプレーが繰り広げられることと思います。

本競技開催にあたり、コースメンテナンスにご尽力いただきました茨城ゴルフ俱楽部関係者各位に深く敬意を表しますと共に、共催の株式会社日本ダンロップ、特別協賛のキリンビール株式会社をはじめ大会関係者の皆様方に心からお礼を申し上げ、参加国間の国際親善に寄与し、日本ゴルフ界の発展に意義の深い大会となりますことを心より祈念いたします。



大会名誉顧問
株式会社 日本ダンロップ
代表取締役社長
Tournament Honorary Advisor

President
Dunlop Japan, Ltd.
Naoto Saito

西藤直人

財団法人日本ゴルフ協会主催の今期の公式戦第1戦として、そしてアジアンツアーリーダー賞金ランク上位選手に、国内シード選手とトップアマチュアが加わるアジアゴルフ界のメジャートーナメントとして位置づけられています。

現在、世界的に活躍するスター選手には、アジアンツアーリーダー賞金ランク上位選手と年々レベルが向上している日本人選手との白熱した優勝争いが今年も繰り広げられることと大いに期待しております。

ギャラリーの皆様におかれましては選手に暖かい応援をいただき、出場される選手におかれましては持てる技量の全てを出し切ってのハイレベルなプレーで試合を一層盛り上げて頂きますようお願いいたします。

最後に、競技開催にあたり、本大会を伝統と格式ある公式戦に育てられた財団法人日本ゴルフ協会、特別協賛を頂きますキリンビール株式会社及び、素晴らしい舞台をご提供いただきます茨城ゴルフ俱楽部並びに関係者各位の皆様に厚く御礼申し上げます。



大会名誉会長
キリンビール株式会社
取締役社長
Tournament Honorary Chairman

President
Kirin Brewery Company, Limited
Yasuhiro Satoh

佐藤安弘

今年もまたキリンオープンゴルフが、関東の名門コースである茨城ゴルフ俱楽部で開催される運びとなりましたことは、大変喜ばしい限りでございます。今年で22年目を迎えるこの伝統ある大会に、一昨年、昨年に引き続き本年も特別協賛社として微力ながらお役に立てることは誠に光栄なことでございます。アジアンツアーオンラインにおける重要な大会の一つとして、また公式戦の中でもハイレベルで内容の充実した大会として、ますます発展されることを心より願っております。

弊社はお客様の健康・楽しさ・快適さに貢献する企業をめざし、長野オリンピックへの協賛、キリンカップサッカーへの協賛等を通じてスポーツ支援を進めて参りました。本大会への特別協賛もその一環であり、今後も日本ゴルフ界のためにできる限りのお手伝いをさせていただく所存でございます。

最後に、本大会の開催にあたりまして、ご尽力いただきました関係者の皆様に心から御礼申し上げます。



大会副会長
茨城ゴルフ俱楽部
理事長
Tournament Vice Chairman

President
Ibaraki Golf Club
Hajime Koga

古賀 久

今年も国内公式戦1戦として、またアジアンツアーリーダー賞金ランクトーナメントとして、眞のアジアNo.1プレーヤーを決定する本大会が私共茨城ゴルフ俱楽部にて開催されることは、誠に光栄かつ名誉あることと存じます。

今年は、東コースでの開催となります。1番ホールを従来のパー5からパー4にすることにより、パー71としてプレーヤー達を迎えます。当俱楽部といたしましては、アジアのチャンピオンを決めるメジャーチャンピオンシップの名にふさわしい、タフでかつフェアなコースセッティングに従業員一丸となって力を注いで参りました。

また、今年で4年目となる地元の方々を中心としたボランティアスタッフは、もはや大会運営の大きな軸としてなくてはならない存在となりました。ボランティアスタッフの多大なるご協力のお陰で、昨年から入場料を大幅に値下げすることも出来、更に地元伊奈町をはじめ、地域との密着、地域還元という我々の大きなテーマが少しづつ形になってきたように思えます。大会成功の為に、貴重な時間を割いて業務にあたっておられるボランティアスタッフ1人1人に心から感謝いたします。

最後に、本大会の開催にご尽力を賜りました関係者各位に厚く御礼申し上げます。

国産大麦使用。淡麗な、うまさとのどごし。
しかも、^{*}145円。

麒麟 淡麗(生)

新発売

新鮮な明日へ
KIRIN
うまい!キリン



*希望小売価格: 350ml缶 145円 500ml缶 195円 (いずれも消費税別)
希望小売価格は単なる参考価格であり、販売店様が自主的に設定される販売価格を何ら拘束するものではありません。キリンビール株式会社

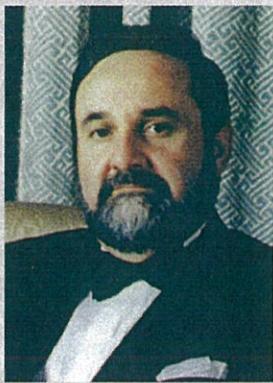
発泡酒

飲酒は20歳になってから。
あきかんはリサイクル。

おいしさでは
負けられない!

Messages

Kirin Open Golf Championship



大会名誉顧問
アジア太平洋ゴルフ連盟
会長
Tournament Honorary Advisor
President
Asia Pacific Golf Confederation
Abdullah Hussain Haroon

Abdullah Hussain Haroon
アブダラ・フセイン・ハルーン

キリンオープンゴルフ選手権競技がアジアンツアーの一つとして開催されることは、私どもアジア太平洋ゴルフ連盟にとりましても誠に光栄なこと存じます。

このトーナメントはアジアンツアーにおける最高で一流のゴルフトーナメントであるということにとどまらず、アジアのスポーツ界全般の発展にも大きく貢献しています。

私はこの最高のゴルフトーナメントに参加する選手達を祝福するとともに、アジアンツアーをサポートしてくださる全員の方々に心より厚くお礼申し上げます。

また、このトーナメントをより素晴らしいものにするよう努力を続けておられる関係者の方々にも深く感謝致します。

The Asia Pacific Golf Confederation is proud to be associated with the Kirin Open Golf Championship. The event is not only the blue ribbon event of the Asian Tour it has also generated the quality of participation that has brought golf in Japan and Asia to the fore front of the sports spectrum.

I would like to congratulate the qualifiers for achieving their participation in this premier golf event of Asia and I would like to convey my expression of thanks to the sponsors for their support to the Asian Tour. To the organizers and officials our appreciation for their continuing successful efforts in promoting the highest standards in golf.

大会会長

後藤田正晴

大会副会長

中井 文治

荒木 博

大西 久光

古賀 始

大会名誉会長

佐藤 安弘

大会名誉顧問

アブダラ・フセイン・ハルーン

横井 雅

西藤 直人

安達 慎三

伊藤 邦男

真鍋 圭作

大会役員

菅原 春雄

尾関 秀夫

大森 孝

小宮山 義孝

松浦 均

前川 昭一

西田 幾久彦

大橋 一元

戸張 捷

美馬 卓示

鷹羽 正好

小西 祥司

中村 和

白石 英雄

大島 仁志

西原 清

瀬戸島 四郎

競技委員長

大橋 一元

競技副委員長

新井 安寿

川田 太三

織田 末雄

競技委員

網中 一郎

福田 正資

石井 宏幸

水野 正人

野口 正三

競技委員

大鷲 俊朗

織戸總 三郎

佐野 公胤

関根 宏一

相馬 昭満

田村 和胤

山崎 圭司

稲富精之助

石黒寿美郎

磯 富昭

長谷川強海

渡辺 操

金山 泰雄

吉田 輝男

吉田 幹成

中里 昇

岡本 毅

大谷 博光

久保 敬祥

山口 信六

山中 栄三

前田 浩

小池 哲美

小林 精太

安達 雅一

矢部 英次

濱崎 博

山村 千秋

山本 小林

小林 英次

トーナメントディレクター

中山 博史

アシスタント

トーナメントディレクター

浅井 政彦

アジアツアー

エグゼクティブディレクター

ジョン・ベンダ

アジアツアーチーフフレリー

ジョン・グロバー

Conditions

実施要項
April 23-24-25-26, 1998

主催

財団法人日本ゴルフ協会 株式会社日本ダンロップ

公認

アジアンツアー

後援

茨城ゴルフ俱楽部 テレビ朝日

特別協賛

キリンビール株式会社

協賛

テレビ提供各社

開催期日

平成10年4月23日(木)、24日(金)、25日(土)、26日(日)

開催場所

茨城ゴルフ俱楽部 東コース 茨城県筑波郡伊奈町小島新田 Tel.0297-58-1216

競技方法

- a.4日間、72ホールストロークプレー。
- b.予選ラウンド36ホール終了後、プロフェッショナル、アマチュアを含め上位60位タイまでが第3、第4ラウンドに進出する。
- c.第1位がタイの場合は、プロフェッショナル、アマチュアともサドンデス方式によりプレー オフを行う。

参加資格

- 1) 1996/97アジアツアーの賞金ランキング上位10位までの者。
- 2) 1997/98アジアツアーの各国大会の優勝者。
- 3) 198キリンオープン前週までの1997/98アジアツアー賞金ランキング上位25位までの者。
(但し4試合以上出場の者)
- 4) 1991年以降のアジアツアー総合優勝者。
- 5) 1997/98PGAツアーオーストラレジア、賞金ランキング上位10位までの者。
- 6) 1973年(日本)PGAツアーリストランク上位25位までの者。
- 7) 1991年以降の日本プロ選手権もしくは日本オープン選手権の優勝者。
- 8) 1993年以降の日本プロマッチプレー、日本シリーズもしくはフィンансロビーの優勝者。
- 9) 1993年以降の年度(日本)PGAツアーパートナーリストランク上位10位までの者。
- 10) (日本)PGAツアーリストランク上位10位までの者。
- 11) (日本)PGAツアーリストランク上位10位までの者。(過去24ヶ月)
- 12) 1993年以降の本競技の優勝者。
- 13) 1997年度本競技の成績上位15位以内の者。
- 14) 1997年度(日本)PGAツアーパートナーリストランク上位60位、及び同ランクによる(日本)PGAツアーシード選手。
- 15) 1997年度日本アマチュア、日本学生、日本アマチュアマッチプレー、日本ミッドアマチュアの各優勝者、日本オープンのローラマチュア、及び'97ノムラカップ(アジアアマ)日本代表選手。
- 16) 1997年度本大会のローラマチュア。
- 17) 本大会初日の3週間前に、アジアツアー開催国の選手で有資格が無い場合、その国のゴルフ協会推薦1名。
- 18) 大会実行委員が承認する特別推薦選手(国内外のプロ・アマ10名以内)、主催者の推薦する者。

*尚、上記資格該当者で出場人数が120名に満たない場合は、キリンオープン前週までの1997/98アジアツアーパートナーリストランク26位以下の選手(但し、4試合以上出場の者)を120名に達するまで繰り上げるものとする。



Sponsor:

Japan Golf Association Dunlop Japan, Ltd.

Asian Tour

Auspices:

Ibaraki Golf Club Asahi National Broadcasting Co., Ltd.

Special Support:

Kirin Brewery Co., Ltd.

Championship Schedule:

April 23-26, 1998

Championship Site:

Ibaraki Golf Club, East Course
Ojimashinden, Ina-cho, Tsukuba-gun, Ibaraki-pref., Japan Phone: 0297-58-1216

Format:

- a.The Championship shall be 72-hole stroke play competition.
- b.After 36 holes, the original field 120, will be cut to the low 60 and ties, including amateurs.
- c.In case of a tie or ties for the first place, or for the lowest amateur, there will be a sudden death play-off to determine the winner and the lowest amateur.

Eligibility: (Total size of field is 120)

- 1) Top 10 finishers from the 1996/97 Asian Tour Official Money List.
- 2) Winners from each of the 1997/98 Asian Tour Official Money Events.
- 3) Top 25 players on the 1997/98 Asian Tour Official Money List subject to those players who have played four (4) Asian Tour Official Events or more before the 1998 Kirin Open.
- 4) Winners of Asian Tour Official Money List since 1991.
- 5) Top 10 finishers from 1997/98 PGA Tour Australasia Official Money List.
- 6) Players who have won more than 25 PGA Turf of Japan Official Events since 1973 when the PGA Tour of Japan regulations were enforced.
- 7) Winners of the Japan PGA Championship, and the Japan Open since 1991.
- 8) Winners of Japan PGA Match Play, the Japan Series, and the PGA Philanthropy since 1993.
- 9) Winners of the PGA Tour of Japan Official Money List since 1993.
- 10) Winners of two (2) or more PGA Tour of Japan Official Events.
- 11) Winners of PGA Tour of Japan Official Events in the last 24 months.
- 12) Winners of this Championship since 1993.
- 13) Top 15 finishers of the 1997 Kirin Open.
- 14) Top 60 players on the 1997 PGA Tour of Japan Official Money List and also those who were given exemption through the Official Money List.
- 15) Winners of the Japan Amateur, the Japan Collegiate Championship, the Japan Amateur Match Play, the Japan Mid Amateur, the lowest Amateur of the Japan Open in 1997, and all playing members of the Japanese Team in the 1997 Nomura Cup (Asia Amateur).
- 16) The lowest Amateur of the 1997 Kirin Open.
- 17) National Golf Association of each of the Asian Tour host countries may nominate one player, professional or amateur, if no player from that country is in the field as of three weeks before the first day of the 1998 Kirin Open.
- 18) Sponsor Exemption (Maximum of 10 players).

*If the field size of 120 is not filled by exempt players categorized above, the field will be filled by the 1997/98 Asian Tour Official Money List before the 1998 Kirin Open from 26th place player subject to those players must have played four (4), or more Asian Tour Official Events.

賞金総額: ¥100,000,000

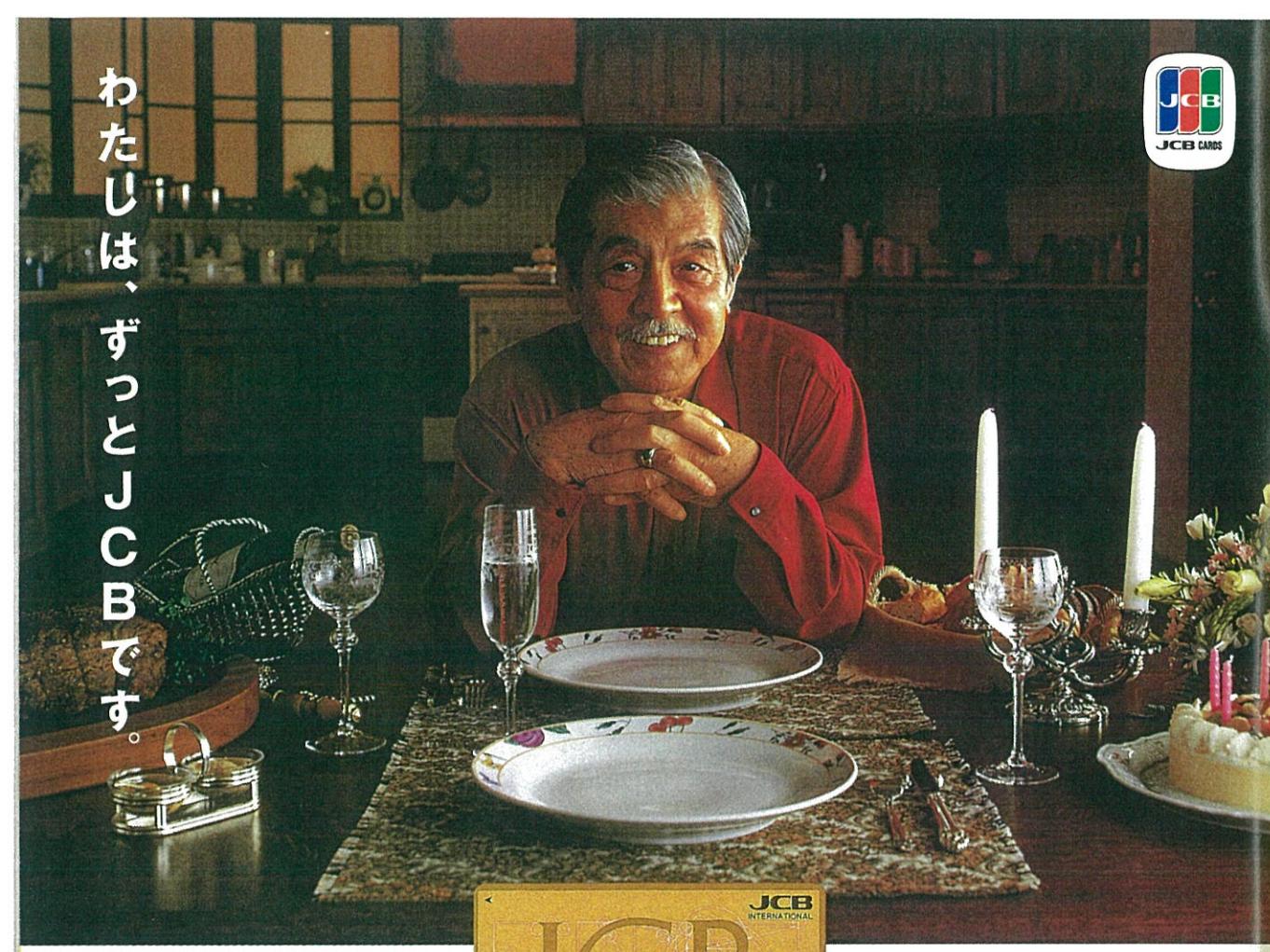
Total Purse: ¥100,000,000

1	¥ 18,000,000	31	¥ 703,000
2	10,000,000	32	683,000
3	7,200,000	33	667,000
4	4,700,000	34	651,000
5	4,000,000	35	635,000
6	3,600,000	36	619,000
7	3,200,000	37	603,000
8	2,800,000	38	587,000
9	2,500,000	39	571,000
10	2,200,000	40	555,000
11	1,970,000	41	550,000
12	1,810,000	42	534,000
13	1,650,000	43	518,000
14	1,530,000	44	502,000
15	1,410,000	45	486,000
16	1,290,000	46	470,000
17	1,170,000	47	454,000
18	1,090,000	48	446,000
19	1,010,000	49	438,000
20	970,000	50	434,000
21	939,000	51	426,000
22	899,000	52	418,000
23	859,000	53	414,000
24	839,000	54	410,000
25	819,000	55	406,000
26	799,000	56	402,000
27	779,000	57	398,000
28	759,000	58	394,000
29	739,000	59	390,000
30	719,000	60	386,000

61位以下の者は、¥1,600,000を均等割。(ただし、1人¥200,000を上限とする。)

*For 61st position and below,
¥1,600,000 shall be broken equally and given to all professionals who finished final round.
(It shall not exceed ¥200,000 per player.)

わたしは、ずっとJCBです。



あなたを満たす一枚、JCB ゴールド。

使いやすさはもちろんのこと、サービスの質の高さで選ぶならゴールドカードはJCBです。

スタイルにふさわしい、キメ細かな配慮がメンバーの方々に大好評。

これから、ゆたかさを愉しみたい。そんなあなたの暮らしを満たす、かけがえのないパートナーになります。

■ゆとりのご利用限度額

ご利用限度額の上限には十分なゆとり。高額のお買物をなさる際にも、余裕をもってお使いいただけます。

■ゴールドデスク

ゴールド会員専用のデスク。航空券をはじめご宿泊、ゴルフ場の手配などをお電話一本で承ります。

■旅行傷害保険サービス(国内/海外)※

最高5,000万円の旅行傷害保険が付いています。

■ショッピングガード保険(国内/海外)※

ゴールドカードでご購入の商品の破損・盗難を補償します。

JCB GOLD



カードの裏には、
サインが必要です。

Players

April 23-24-25-26, 1998

アジアンツアーブランケットを待ち受ける日本ツアーの精鋭たち

今年もまた、アジアンツアーブランケットを
転戦してきた各国の選手たちと、

日本で活躍する
トッププレーヤーたちが激突する

過酷な4日間が始まった。

厳しいコンディションの中で闘う

アジアンツアーブランケット

ハイレベルなコンディションで
技を競う日本ツアー。

果して今年はどちらの代表が
このキリンオープンを制すのか?

頂点はただひとつ。

栄光のチャンピオントロフィーの
行方が決まるのは72ホール目の

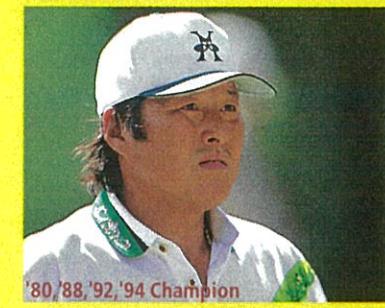
18番グリーンだ!



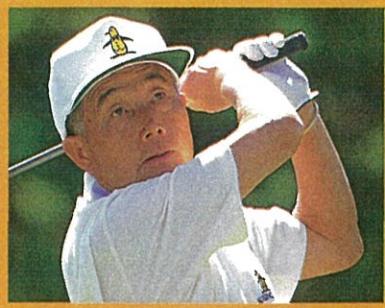
Defending Champion
金鍾徳
Jong-Duk Kim・韓国
生年月日: 1961年6月4日 / プロ入り: 1985年 / 優勝: 1回
1997賞金ランク: 45位 (¥28,685,960)



82 Champion
中島常幸
Tommy Nakajima
キリンビールイメージパートナー
生年月日: 1954年10月20日 / プロ入り: 1975年 / 優勝: 56回
1997賞金ランク: 43位 (¥29,983,700)



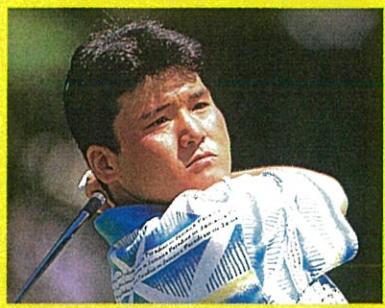
'80/'88,'92,'94 Champion
尾崎将司
Jumbo Ozaki
生年月日: 1947年1月24日 / プロ入り: 1970年 / 優勝: 105回
1997賞金ランク: 1位 (¥170,847,633)



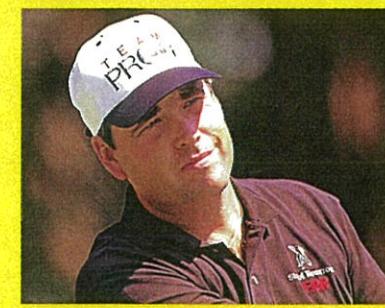
'98 Champion
杉原輝雄
Teruo Sugihara
生年月日: 1937年6月14日 / プロ入り: 1957年 / 優勝: 54回
1997賞金ランク: 83位 (¥12,097,028)



'97 Champion
倉本昌弘
Massy Kuramoto
生年月日: 1955年9月9日 / プロ入り: 1981年 / 優勝: 32回
1997賞金ランク: 102位 (¥7,806,960)



'98 Champion
丸山茂樹
Shigeki Maruyama
生年月日: 1969年9月12日 / プロ入り: 1992年 / 優勝: 7回
1997賞金ランク: 2位 (¥152,774,420)



'93 Asian Tour Champion
ブライアン・ワッツ
Brian Watts・米国
生年月日: 1966年3月18日 / プロ入り: 1988年 / 優勝: 10回
1997賞金ランク: 3位 (¥111,153,198)



'94 Champion
尾崎健夫
Jet Ozaki
生年月日: 1954年1月9日 / プロ入り: 1975年 / 優勝: 15回
1997賞金ランク: 5位 (¥77,555,311)

やわらかいだけでは、このスリーピースにはなれない。

こんなに飛ぶのに、こんなにやわらかい。

ストロング・ソフト

ハイブリッド スリーピース、新登場。

世界初のウレタンソフトミッド層、採用。
その弾道にゴルファーは驚く。
力強い飛びとやわらかさのハイブリッド スリーピース。
それが、ストロング・ソフトだ。

なんてハイブリッドな
キャンペーン実施中。
(’98年6月30日まで)

MAXFLI
HI-BRID
マックスフライ ハイブリッド

NEW

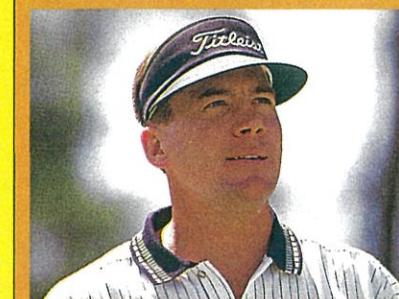
メーカー希望小売価格：1個 ¥700(税抜き)

あなたのゴルフが、大きく変わる。 脳のすぐ快感、心の躍る楽しさを、すべてのゴルファーへ そんな革命がダンロップから

こんなに飛ぶのに、やわらかい。ストロング・ソフトの詳しい情報はFAXでもお届けしています。
お電話から東京03-3940-6000 大阪06-455-6000をダイヤル 音声ガイドにしたがってBOXナンバー
525567#を押してください。
<http://www.dunlop.co.jp/>(ダンロップ ゴルフワールド)

Players

April 23-24-25-26, 1998



'95アジアツアー
総合優勝者
Brandt Jobe・米国
生年月日:1965年8月1日／プロ入り:1988年／優勝:3回
1997賞金ランク:6位(¥69,759,886)



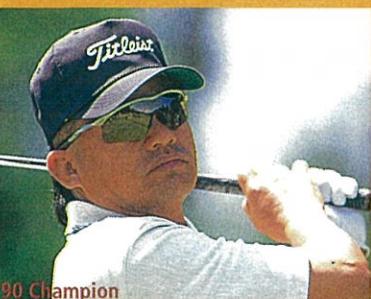
桑原 将一
Shoichi Kuwabara
生年月日:1969年1月21日／プロ入り:1991年／優勝:1回
1997賞金ランク:7位(¥60,413,113)



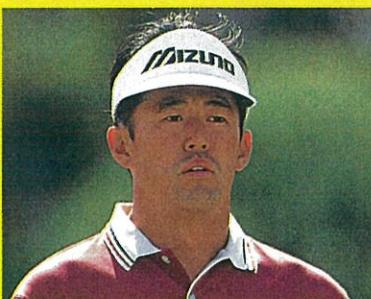
'94アジアツアー
総合優勝者
Carlos Franco・パラグアイ
生年月日:1965年5月24日／プロ入り:1986年／優勝:3回
1997賞金ランク:8位(¥56,321,628)



'90 Champion
宮瀬 博文
Hirofumi Miyase
生年月日:1971年4月11日／プロ入り:1989年／優勝:2回
1997賞金ランク:9位(¥55,764,409)



'90アジアツアー
総合優勝者
Frankie Minoza・フィリピン
生年月日:1959年12月29日／プロ入り:1983年／優勝:4回
1997賞金ランク:10位(¥54,192,571)



鈴木 亨
Toru Suzuki
生年月日:1966年5月28日／プロ入り:1989年／優勝:5回
1997賞金ランク:11位(¥51,444,184)



深堀圭一郎
Keiichiro Fukabori
生年月日:1968年10月9日／プロ入り:1992年／優勝:2回
1997賞金ランク:12位(¥51,427,473)



エドアルド・エレラ
Eduardo Herrera・コロンビア
生年月日:1965年4月28日／プロ入り:1987年／優勝:3回
1997賞金ランク:13位(¥51,050,800)



久保谷健一
Kenichi Kuboya
生年月日:1972年3月11日／プロ入り:1995年1月／優勝:2回
1997賞金ランク:14位(¥50,740,771)



'93 Champion
飯合 肇
Hajime Meshiai
生年月日:1954年3月12日／プロ入り:1978年／優勝:12回
1997賞金ランク:15位(¥44,547,120)



溝口 英二
Eiji Mizoguchi
生年月日:1964年12月7日／プロ入り:1989年／優勝:2回
1997賞金ランク:16位(¥44,409,460)



渡辺 司
Tsukasa Watanabe
生年月日:1957年2月16日／プロ入り:1981年／優勝:3回
1997賞金ランク:17位(¥44,302,747)



後味すっきり
甘さほんのり
カロリーゼロ

午後の紅茶

ノンシュガー
ストレートティー

牛のなんたあとはリサイクル



後味すっきり、
やさしいノンシュガーよ。

インターネットホームページアドレス <http://www.beverage.co.jp>

Players

April 23-24-25-26, 1998



藤田 寛之

生年月日: 1969年6月16日
プロ入り: 1992年 / 優勝: 2回
1997賞金ランク: 18位 (¥43,935,360)



日下部光隆

生年月日: 1968年11月10日
プロ入り: 1991年 / 優勝: 3回
1997賞金ランク: 19位 (¥43,303,400)



桧垣 繁正

生年月日: 1971年10月17日
プロ入り: 1994年 / 優勝: 1回
1997賞金ランク: 20位 (¥42,539,160)



原田 三夫

生年月日: 1964年1月15日
プロ入り: 1988年 / 優勝: 2回
1997賞金ランク: 22位 (¥42,020,640)



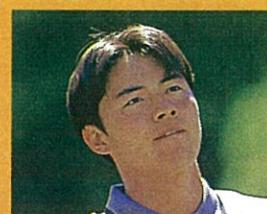
ピーター・テラベイネン

生年月日: 1956年4月23日
プロ入り: 1979年 / 優勝: 2回
1997賞金ランク: 23位 (¥39,921,168)



横田 真一

生年月日: 1972年2月6日
プロ入り: 1994年 / 優勝: 1回
1997賞金ランク: 24位 (¥39,038,496)



横尾 要

生年月日: 1972年7月24日
プロ入り: 1995年 / 優勝: ナシ
1997賞金ランク: 25位 (¥38,027,502)



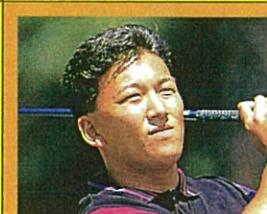
桑原 克典

生年月日: 1969年4月4日
プロ入り: 1992年 / 優勝: 1回
1997賞金ランク: 26位 (¥37,970,159)



佐藤 信人

生年月日: 1970年3月12日
プロ入り: 1993年 / 優勝: 1回
1997賞金ランク: 27位 (¥37,518,614)



細川 和彦

生年月日: 1970年12月28日
プロ入り: 1993年 / 優勝: 6回
1997賞金ランク: 28位 (¥36,862,380)



デビッド・イシイ

生年月日: 1955年7月26日
プロ入り: 1979年 / 優勝: 19回
1997賞金ランク: 29位 (¥36,700,346)



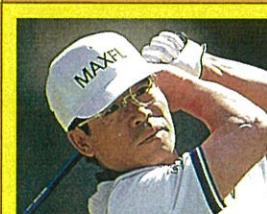
小達 敏昭

生年月日: 1968年1月8日
プロ入り: 1991年 / 優勝: 1回
1997賞金ランク: 30位 (¥36,595,294)



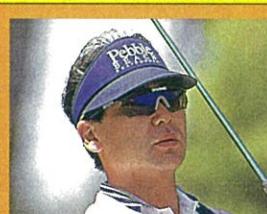
手嶋 多一

生年月日: 1968年10月16日
プロ入り: 1993年
1997賞金ランク: 31位 (¥36,327,734)



中村 通

生年月日: 1950年11月27日
プロ入り: 1968年 / 優勝: 28回
1997賞金ランク: 33位 (¥34,586,294)



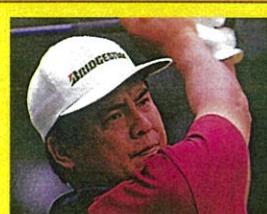
東 聰

生年月日: 1960年11月16日
プロ入り: 1983年 / 優勝: 9回
1997賞金ランク: 34位 (¥34,177,481)



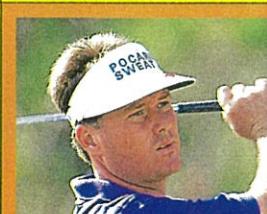
森 茂則

生年月日: 1958年5月9日
プロ入り: 1985年 / 優勝: 2回
1997賞金ランク: 35位 (¥32,924,420)



葉 彰廷

生年月日: 1967年12月5日
プロ入り: 1993年 / 優勝: 1回
1997賞金ランク: 36位 (¥32,801,860)



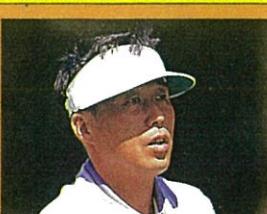
トッド・ハミルトン

生年月日: 1965年10月18日
プロ入り: 1987年 / 優勝: 6回
1997賞金ランク: 37位 (¥32,554,520)



水巻 善典

生年月日: 1958年8月27日
プロ入り: 1984年 / 優勝: 9回
1997賞金ランク: 38位 (¥31,839,730)



奥田 靖己

生年月日: 1960年4月1日
プロ入り: 1984年 / 優勝: 9回
1997賞金ランク: 39位 (¥31,798,632)

新鲜な明日へ
KIRIN

うまい!キリン



渴いたノドが
ある限り。

Kirin Beer
KIRIN BREWING CO., LTD.
freshing DLE

and Kōjō isoku
will never leave you
dry.

ノドうなる爽快
キリンビール工場[生]

飲酒は20歳になってから。あきかんはリサイクル。

Players

April 23-24-25-26, 1998



'96 Champion

金子 柱憲

生年月日: 1961年3月4日 / プロ入り: 1983年12月1日 / 優勝: 7回 / 1997賞金ランク: 40位 (¥30,834,774)



真板 潔

生年月日: 1959年12月17日 / プロ入り: 1985年6月1日 / 優勝: 2回 / 1997賞金ランク: 41位 (¥30,298,222)



佐々木久行

生年月日: 1964年11月27日 / プロ入り: 1986年4月26日 / 優勝: 4回 / 1997賞金ランク: 42位 (¥30,040,980)



田中 秀道

生年月日: 1971年3月29日 / プロ入り: 1991年10月25日 / 優勝: 3回 / 1997賞金ランク: 44位 (¥29,357,393)



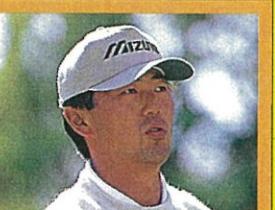
スチュワート・ジン

生年月日: 1949年6月2日 / プロ入り: 1991年10月25日 / 優勝: 2回 / 1997賞金ランク: 46位 (¥28,668,220)



金山 和雄

生年月日: 1952年11月1日 / プロ入り: 1976年7月1日 / 優勝: 7回 / 1997賞金ランク: 48位 (¥28,352,700)



米山 剛

生年月日: 1965年3月15日 / プロ入り: 1987年4月25日 / 優勝: ナシ / 1997賞金ランク: 49位 (¥28,025,186)



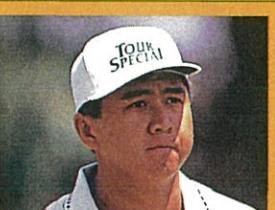
伊沢 利光

生年月日: 1968年3月2日 / プロ入り: 1989年4月22日 / 優勝: 1回 / 1997賞金ランク: 50位 (¥25,855,454)



井戸木鴻樹

生年月日: 1961年11月2日 / プロ入り: 1982年12月1日 / 優勝: 3回 / 1997賞金ランク: 51位 (¥24,041,714)



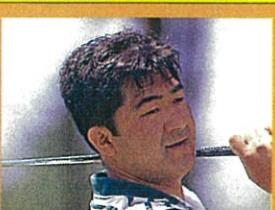
ゾー・モウ

生年月日: 1967年6月27日 / プロ入り: 1993年10月8日 / 優勝: ナシ / 1997賞金ランク: 52位 (¥23,792,840)



宮本 勝昌

生年月日: 1972年8月28日 / プロ入り: 1995年10月6日 / 優勝: 1回 / 1997賞金ランク: 53位 (¥22,396,448)



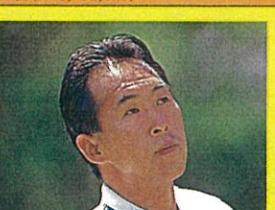
川岸 良兼

生年月日: 1966年12月6日 / プロ入り: 1989年10月27日 / 優勝: 5回 / 1997賞金ランク: 54位 (¥22,183,454)



河村 雅之

生年月日: 1967年3月15日 / プロ入り: 1986年4月26日 / 優勝: 3回 / 1997賞金ランク: 56位 (¥21,593,388)



木村 政信

生年月日: 1960年1月23日 / プロ入り: 1983年5月1日 / 優勝: 6回 / 1997賞金ランク: 57位 (¥21,244,325)



湯原 信光

生年月日: 1957年8月14日 / プロ入り: 1980年9月1日 / 優勝: 6回 / 1997賞金ランク: 58位 (¥21,050,550)



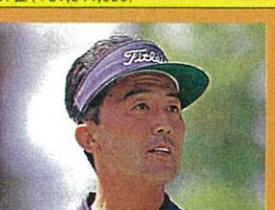
谷口 徹

生年月日: 1968年2月10日 / プロ入り: 1992年5月29日 / 優勝: ナシ / 1997賞金ランク: 59位 (¥20,558,070)



杉本 周作

生年月日: 1973年7月27日 / プロ入り: 1996年 / 優勝: 1回 / 1997賞金ランク: 60位 (¥20,305,838)



佐藤 英之

生年月日: 1960年2月13日 / プロ入り: 1983年 / 優勝: 1回 / 1997賞金ランク: 61位 (¥19,618,680)



高見 和宏

生年月日: 1959年12月11日 / プロ入り: 1985年 / 優勝: 5回 / 1997賞金ランク: 62位 (¥19,585,928)



芹沢 大介

生年月日: 1964年11月29日 / プロ入り: 1989年 / 優勝: 2回 / 1997賞金ランク: 63位 (¥19,290,120)

シートベルトをしめて、スピードをひかえめに。安全運転は三菱の願いです。

運転する父ちゃんたって、
しっかり楽しい。
やっぱ違うよねえ、
グランディス。



GDI シャリオ グランディス 誕生



そのたのもしさ、
その大きさ、ビッグダディ。



自分に楽しく、家族にやさしい

三菱からの新提案です。



●GDIで2リッター車を
凌ぐ低燃費*

よりパワフル
より低燃費
よりクリーン



新発想のインパネシフト

●だから、運転も楽しくて。ウォーク
スルーモード。全車にINVECS-II
スポーツモード4A/Tを搭載。



余裕の3ナンバーボディ

●大きなスペースが広がる
3ナンバーボディなのに、
取り回しはカンタン。

*10-15モード燃料消費率:11.6km/l(従来のシャリオ 2リッター車との比較)

2WD SUPER EXCEED 6人乗り(7人乗りもあります) ●全長×全幅×全高:4585×1775×1690mm ●最高出力(ネット):165PS/5500rpm ●最大トルク:23.5kg-m/3500rpm

●お客様相談センター 0120-324-860 オープン時間:月曜~金曜(除く所定の休日) 9:00~12:00 13:00~17:00

GDIで走ろう。

Players

April 23-24-25-26, 1998



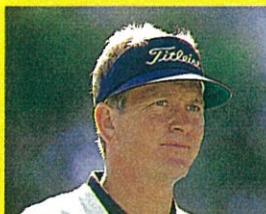
福沢 孝秋

Takaaki Fukuzawa
生年月日:1952年8月30日
プロ入り:1980年/優勝:1回
1997賞金ランク:65位(¥18,854,620)



高橋 勝成

Katsunari Takahashi
生年月日:1950年8月5日
プロ入り:1975年/優勝:14回
1997賞金ランク:66位(¥18,638,190)



リック・ギブソン

Rick Gibson・カナダ
生年月日:1961年10月27日
プロ入り:1984年/優勝:2回
1997賞金ランク:71位(¥17,074,214)



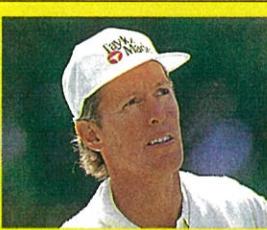
リック・Todd

Rick Todd・カナダ
生年月日:1962年10月3日
プロ入り:1980年
1997賞金ランク:105位(¥7,299,192)



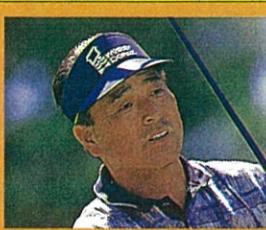
合田 洋

Hiroshi Goda
生年月日:1964年10月10日
プロ入り:1984年/優勝:2回
1997賞金ランク:152位(¥2,394,000)



ロジャー・マッカイ

Roger Mackay・オーストラリア
生年月日:1956年3月31日
プロ入り:1983年/優勝:8回
1997賞金ランク:64位(¥19,066,500)



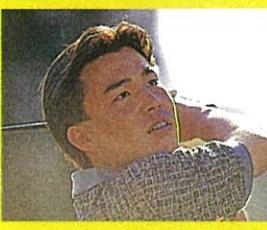
山本 善隆

Yoshitaka Yamamoto
生年月日:1951年1月29日
プロ入り:1970年/優勝:17回
1997賞金ランク:72位(¥16,281,681)



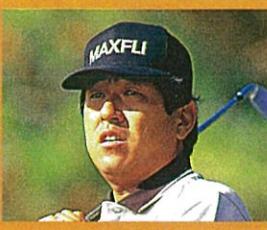
芹澤 信雄

Nobuo Serizawa
生年月日:1959年11月10日
プロ入り:1982年/優勝:12回
1997賞金ランク:67位(¥18,526,960)



福永 和宏

Kazuhiro Fukunaga
生年月日:1969年2月26日
プロ入り:1992年/優勝:1回
1997賞金ランク:81位(¥12,916,140)



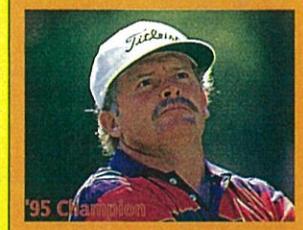
加瀬 秀樹

Hideki Kase
生年月日:1959年12月1日
プロ入り:1983年/優勝:10回
1997賞金ランク:151位(¥2,496,600)



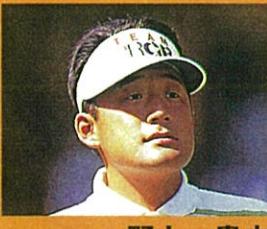
堀川 昌利

Masatoshi Horikawa
生年月日:1967年9月1日
プロ入り:1991年/優勝:1回
1997賞金ランク:106位(¥7,395,120)



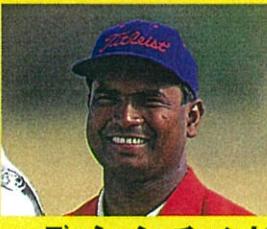
ピーター・シニア

Peter Senior・オーストラリア
生年月日:1959年7月31日
プロ入り:1978年/優勝:3回
1997賞金ランク:69位(¥17,504,639)



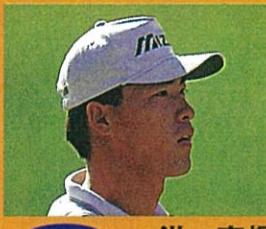
野上 貴夫

Taeko Nogami
生年月日:1971年7月10日
プロ入り:1997年
96/97アジアツアー賞金ランク:9位



ディネッシュ・チャンド

Dinesh Chand・フィジー
生年月日:1972年2月6日
プロ入り:1997年



洪 家煌

Chia-Yuh Hong・台湾
生年月日:1974年4月28日
1997日本アマチュア 優勝
1996台湾オープン 優勝



近藤 智弘

Tomohiro Kondo
生年月日:1977年6月17日
1997日本アマチュア・マッチプレー 優勝
1997日本アマチュア 2位



今田 幸雄

Yukio Imada
生年月日:1937年3月8日
1997日本ミッドアマチュア 優勝
1997日本シニアオープン 41位タイ



中川 隆弘

Takahiro Nakagawa
生年月日:1960年4月4日
1997日本アマチュア 10位タイ
1997関西オープン 24位タイ



和田 博

Hiroshi Wada
生年月日:1962年6月16日
1997日本ミッドアマチュア 優勝
1997日本アマチュア 6位
1997関西ジュニア 優勝



宮里 優作

Yusaku Miyazato
生年月日:1980年6月19日
1997日本ジュニア 6位
1997関西ジュニア 優勝

Highlight

1997 KIRIN OPEN GOLF CHAMPIONSHIP

最終日首位スタートの丸山茂樹が崩れ、 金鍾徳(韓国)が逆転、日本初V

前年の'96キリンオープンで、そしてこの大会前週のつるやオーブンでも逆転負けを喫して優勝を逃している丸山茂樹がその雪辱を期して最終日を首位スタート。

“今週こそは”と気合いのゴルフを展開したがボギーが先行する苦しいラウンド。最終18番ホールでバーディーを奪えればプレーOFFという局面だったが…

初来日が91年のこの大会というZ.モウ(マンマー)が初日に67と爆発、単独首位で幸先よいスタートを切った。

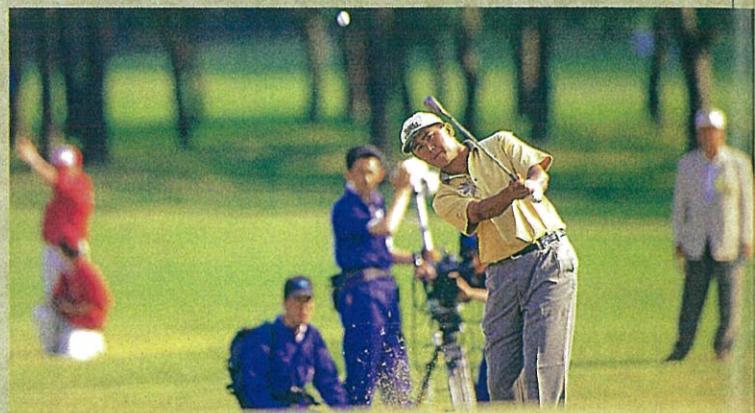
1st

Z.モウが新ドライバーを武器に5アンダーで首位スタート

この年の2月、タイで行なわれたアジア・ホンダクラシック最終日にT.ウッズと同じ組でまわったミャンマーのZ.モウが第1ラウンド67の好スコアをマークして単独首位に立った。「ウッズとラウンドして学んだことを今日は生かすことができた」とニッコリ。「大会の2日前に初めて手にした新しいドライバーも自分にピッタリ」と、クラブとの相性も好スコアを後押ししてくれたようだった。

前週逆転負けの丸山は雪辱に向けて2打差の好発進

つるやオーブンで優勝を逃した丸山は、「今週はショットがもうひとつだが、どんな状況でも勝負は捨てない」と気合が入る。「タイガー(ウッズ)のあの集中力と勝負に対する執念を見習って今週こそ優勝します」と逆転負けのことは全く気にしていない様子。



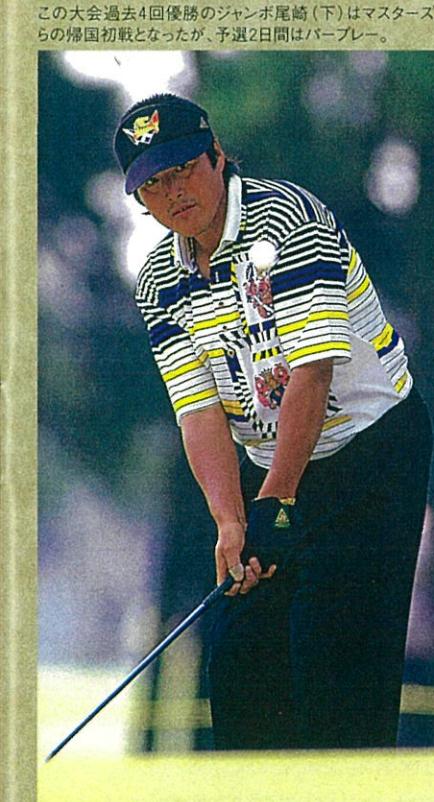
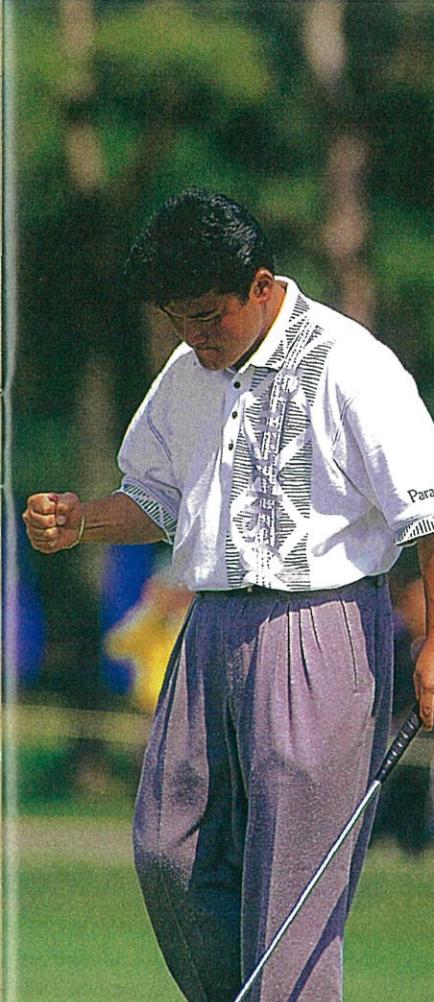
B.ワツ(米、上)と中島常幸(下)
実力者も4位タイ発進。

実力者たちも揃って上位に

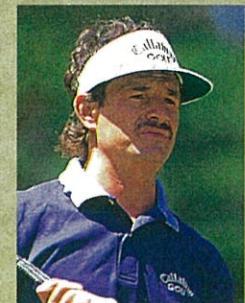
丸山と並んで3アンダー4位タイグループにはホストプロの中島常幸、湯原信光、東聰、外国勢のB.ワツ、P.シニアといった実力派が顔を揃えた。一方、マスターズからの帰国初戦となった尾崎将司はイーブンパーの33位タイ、マスターズ初出場を果した金子柱憲は1アンダーハーフタイと静かなスタートとなった。

注目の大物アマチュア2人は仲良く1アンダー21位タイ

和製ウッズ候補と注目されるアマチュアの大物2人もまずはのスタート。前年の世界ジュニアを制した日大1年の市原建彦は5バーディー、2ボギー、1ダブルボギーと出入りの激しいゴルフを展開。一方、前年の日本アマで2位に15打差をつけて優勝した東北福祉大2年の星野英正は逆に2バーディー、1ボギーの安定したゴルフで同じく1アンダーをマークし、2人揃ってアマチュアのレベルの高さを証明した。



初日3アンダーの丸山茂樹が好調なパッティングを武器に2日目は68をマーク、通算7アンダーで2位へ浮上してきた。



アマチュアの
星野英正是
10位タイで
楽々予選通
過を果した。

ベストスコア68をマークして丸山茂樹、単独2位へ浮上

「パッティングが楽しくてしかたがない」と、この日は23パットの丸山。好調の秘密は前週に同じ組でラウンドしたベラン杉原輝雄のリズムを取り入れたことだった。「ラインを読んで、スッと構え、サッとストローク。素振りをしないことで雑念が入らず、いいんです」とショットのプレをパッティングでカバーし、この日4アンダー、トータル7アンダーで首位に1打差の2位へ浮上した。

首位はZ.モウがキープし、 ワツ、フランコ、田中秀道の実力者たちが3位タイへ

第1ラウンド首位のZ.モウはこの日も69とスコアを伸ばし、トータル8アンダーで単独首位をキープした。2位の丸山をはさんで5アンダー3位タイにはB.ワツ、C.フランコのアジアツアーグランプリ優勝経験者2人に加え、若手の田中秀道が前日の11位から浮上してきた。

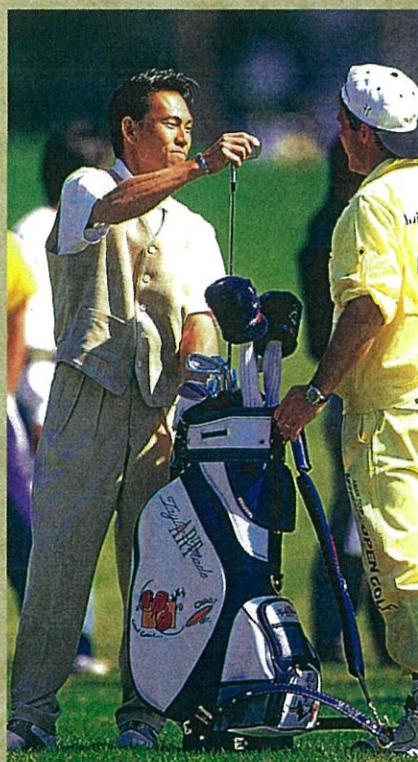
ジャンボ尾崎はバーブレーと静かに予選ラウンドを消化

バーブレーの第1ラウンドに続き、尾崎将司はこの日もバーブレー72。31位タイの順位にも「練習ラウンドは終わった。明日はビッグスコアをマークする」と余裕の笑顔でクラブハウスを後にした。

アマチュア2人は予選落ちと通過に大きく明暗が分れた

第1ラウンド仲良く1アンダーにつけ、この日の上位進出を狙った市原、星野の2人だったが、市原は79と大きく崩れ6オーバー93位で予選通過は果たせなかつた。一方、星野は2つスコアを伸ばして3アンダー10位タイの大健闘で楽々予選を突破した。

なお、この第2ラウンドを終わって通算2オーバー、51位タイまでの62名(内アマチュア2名)が決勝ラウンドに進出した。



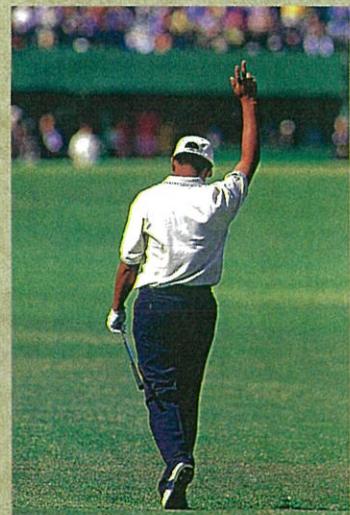
この日69の田中秀道も通算5アンダー、3位タイへ急浮上。

2nd

Highlight

1997 KIRIN OPEN GOLF CHAMPIONSHIP

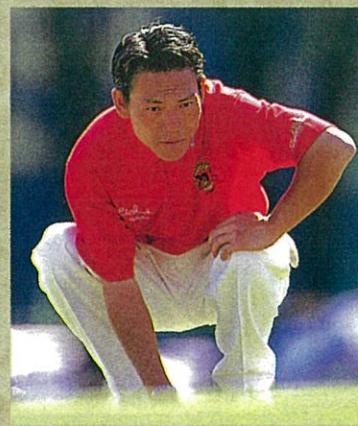
3rd



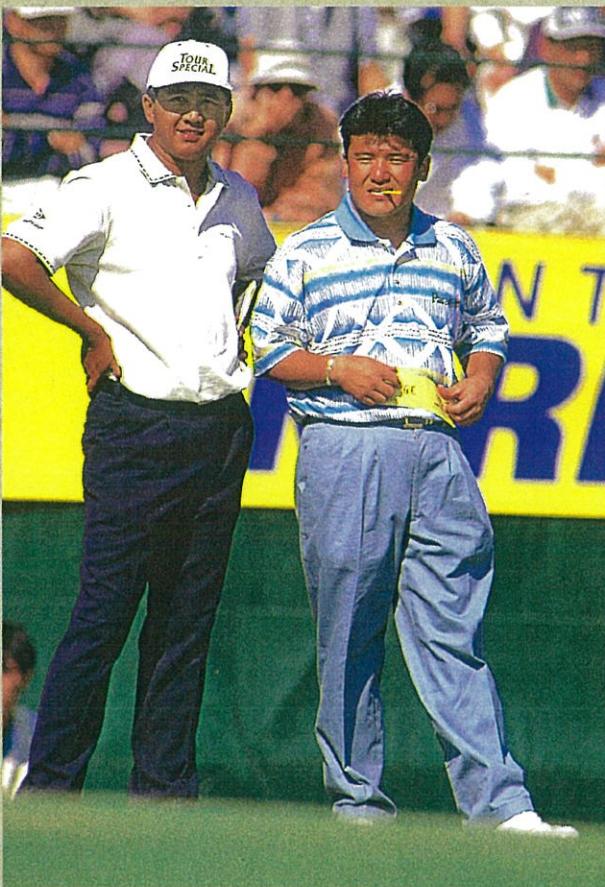
2日間首位を走ったZ.モウはこの18番ホール(パー4)で2打目を直接カップイン、イーグルを奪うなどで通算11アンダーとしたが1打差2位へ一步後退。



C.フランコ(上)も着実にスコアを伸ばして8アンダー、3位タイと逆転優勝を狙える位置についた。



'96ベシ宇部興産オープン以来1年ぶりの優勝を狙う田中はトップの丸山から4打差の3位タイと絶好の位置についた。



予選2日間を7アンダーで走った丸山は、この第3ラウンドに猛チャージをかけて12アンダーまでスコアを伸ばし、ついに単独首位に立った。(左はZ.モウ)

丸山、12アンダーまでスコアを伸ばしてついに首位奪取

4位、2位と日々を追う毎に順位を上げてきた丸山が、この第3ラウンドについて首位を奪った。この日は1イーグル、5バーディー、2ボギーの5アンダー67をマーク。「2週連続で逆転負けだけはしませんよ。バットの調子もいいから安心感もあります」と頼もしいコメント。前年の'96年大会でも第4ラウンドを首位でスタートしながら75と崩れて優勝を逃しているだけに、一層気合いが入る丸山だった。

2位は1打差でZ.モウ、3位には田中とフランコが4打差で追う展開

2日間首位を守ったZ.モウは第3ラウンドも69とスコアを伸ばし11アンダーとしたが2位へ後退。同じく69をマークした田中秀道とC.フランコの2人が首位の丸山から4打差、8アンダーで3位タイにつけた。第4ラウンドの最終組は丸山、モウ、田中の3人。「ヒデ(田中)だけは抑えなくちゃ」と丸山が言えば「バットが不調で、クロスハンドグリップにしたら気分転換になりました」と田中は上昇気配。第4ラウンドの若手2人の対決が見ものとなつた。

星野が猛チャージで5位浮上

並み居る強豪プロたちを押しのけて、アマチュアの星野が68の好スコアで7アンダー、5位タイへ上ってきた。1イーグル、4バーディー、2ボギーとプロ顔負けの猛チャージを見せ、トップアマとしての実力を証明。4ヶ月前には海外遠征による疲労で2週間も入院したが、そのときベッドの中でT.ウッズのスwing写真を頭の中に焼きつけたという星野、「(優勝を)狙いたいですね」と楽しみなコメントで第3ラウンドを締めくくつた。

金鍾徳、6打差9位タイからの逆転優勝で総合優勝の座も

前日6アンダー9位タイの金が、最終18番ホールでチップインバーディーを見せるなどこの日68をマーク、トータル10アンダーで先にホールアウトして最終組を待った。これに対し、12アンダーでスタートした丸山は17番を終わってこの日2つスコアを落とし10アンダー。残す18番をバーディーとすれば逃げ切り優勝となるはずだった。しかし、18番の第1打は右の林。このホールを痛恨のボギーとしてプレーインにも持ち込めず、2週連続、そしてこの大会2年連続で逆転負けを喫してしまった。「情けない。変なプレッシャーを感じすぎてしまった」とショックを隠し切れない丸山。対して、男子韓国人選手として日本でのビッグトーナメントでは1972年日本オープンの韓長相以来という25年ぶりの優勝を飾った金は「ラッキーとしか言いようがない。これで韓国に帰ったら私も国民的英雄ですよ」と戸惑いも。そもそものはず、この優勝で金は単なる1勝のみならず、'97年度のアジアンツアーグランプリをも手にし、さらに日本ツアーにおいて翌週から24ヶ月のシード権も手にしたのだった。

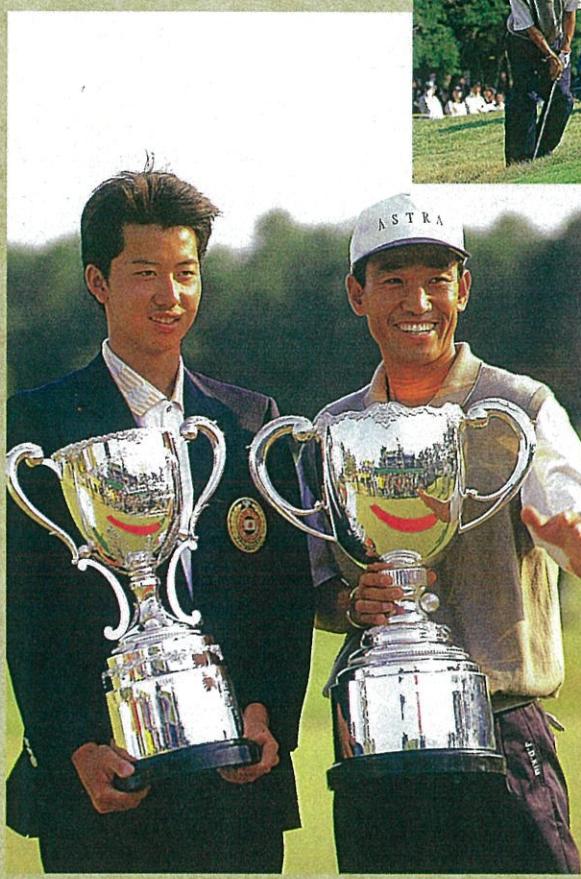
ジェット尾崎が65、ジャンボ尾崎も67と2人揃つて第4ラウンドに大爆発

第3ラウンドまでイライラ気味のラウンドが続いている尾崎兄弟2人が揃って大爆発。ジェットは7バーディーの65で通算9アンダー、2位タイにくい込み、ジャンボも5バーディーの67で6アンダー12位タイまで順位を上げ、ファンを喜ばせた。

ローアマチュアは星野英正に

第4ラウンドにして初めてのオーバーパー(74)でスコアを落とした星野だったが通算5アンダー、15位タイで堂々のローアマチュアに輝いた。「4日間、いい勉強になりました。これからもっと身体をつくってプロに挑戦したいと思います」と将来を見据えたコメントで大会を終えた。

なお、金鍾徳が飾ったアジアンツアーグランプリは、アシア勢としては1990年のF.ミノザ(フィリピン)以来7年ぶりであり、また韓国人選手としては初めてとなった。



上:最終18番ホールでチップショットする金鍾徳(韓国)。このチップインバーディーが結果的に優勝を決めた。
左:優勝カップを手にして喜ぶ金とローアマチュアの星野英正(写真左)



Final

1997 キリンオープン 4月24日~27日 茨城G.C.・西コース 7052y パー72

優勝	金 鍾徳	KOR	278 (69,73,68,68)	30	西川 哲	JPN	288 (71,73,72,72)
2	尾崎 健夫	JPN	279 (70,73,71,65)		L.バーバー	USA	288 (71,73,71,73)
	宮瀬 博文	JPN	279 (70,71,68,70)		真板 潔	JPN	288 (74,70,72,72)
	B.ワッツ	USA	279 (69,70,71,69)		T.ストローブ	USA	288 (71,72,74,71)
	丸山 茂樹	JPN	279 (69,68,67,75)		横尾 要	JPN	288 (70,72,74,72)
6	R.トッド	CAN	280 (71,72,67,70)		今野 康晴	JPN	288 (73,68,71,76)
	E.フライアット	UK	280 (68,71,71,70)	38	倉本 昌弘	JPN	289 (70,75,71,73)
	田中 秀道	JPN	280 (70,69,69,72)	39	D.ブレー	HK	290 (72,74,69,75)
	C.フランコ	PAR	280 (71,68,69,72)		陳 志忠	TPE	290 (77,69,74,70)
	Z.モウ	MYA	280 (67,69,69,75)		鈴木 亨	JPN	290 (71,75,74,70)
11	張 連偉	CHI	281 (70,71,70,70)		福澤 義光	JPN	290 (74,72,74,70)
12	尾崎 将司	JPN	282 (72,72,71,67)		G.ラスナック	USA	290 (72,74,74,70)
	M.チャーダー	USA	282 (71,73,65,73)		湯原 信光	JPN	290 (69,76,71,74)
	東 聰	JPN	282 (69,71,74,68)		K.ウェントワース	USA	290 (74,71,72,73)
15	S.リー二	AUS	283 (75,68,67,73)		C.ペニヤ	USA	290 (77,68,73,72)
	中島 常幸	JPN	283 (69,72,70,72)		金子 柱憲	JPN	290 (71,72,72,75)
	*星野英正	JPN	283 (71,70,68,74)		伊沢 利光	JPN	290 (70,72,75,73)
	F.ミノザ	PHL	283 (72,68,69,74)		河村 雅之	JPN	290 (71,69,73,77)
19	飯合 肇	JPN	284 (75,70,67,72)	50	E.ミクス	USA	291 (74,72,69,76)
20	D.イシイ	USA	285 (72,73,68,72)		B.ランキット	THA	291 (73,72,73,73)
	B.ジョーブ	USA	285 (74,69,71,71)		J.スナイダー	USA	291 (76,68,73,74)
	M.カニング	USA	285 (70,72,70,73)	53	J.ラトリッジ	CAN	292 (76,69,75,72)
23	J.シン	IND	286 (72,71,73,70)		細川 和彦	JPN	293 (74,72,75,72)
	米山 剛	JPN	286 (70,73,73,70)		P.テラベイネン	USA	293 (74,69,74,76)
	D.ウィルソン	USA	286 (68,73,72,73)	56	木村 政信	JPN	294 (74,72,72,76)
26	佐藤 剛平	JPN	287 (72,74,73,68)	57	鈴木 弘一	JPN	295 (75,71,74,75)
	R.ギブソン	CAN	287 (74,71,70,72)		D.ウォルスワース	USA	295 (70,74,74,77)
	C.チャーナック	USA	287 (76,68,72,71)		S.ジン	AUS	297 (72,72,78,75)
	P.シニア	AUS	287 (69,72,72,74)		S.ギムソン	SIN	297 (73,70,80,74)
30	E.エバーソン	USA	288 (74,71,74,69)	61	野上 貴夫	JPN	298 (72,74,74,78)
	藤木 三郎	JPN	288 (71,74,73,70)	62	*洪 家煌	TPE	299 (74,72,73,80)



○誕生、デジタル・ローリング技術。

デジタイヤ

D R S
Digital Rolling Simulation.

ROMÁRIO de Souza Faria
FOOTBALL / BRAZIL NATIONAL TEAM
1994 FIFA Player of the Year

回転するタイヤのすべてをコンピュータでシミュレーション。
才能のカタマリ、デジタイヤ。あとは、現実の世界を走るだけだ。

○インプットされた、4つの才能。

①安定という才能。高速に強いデジタイヤプロファイル。②耐久という才能。偏摩耗を防ぐデジタイヤパターン。

③グリップという才能。雨に強いデジタイヤシリカ撥水ゴム。④静粛という才能。静かなデジタイヤカオス配列。

GET DUNLOP!

生まれる前から、走ってた。



デジタイヤ第1弾

NEW
LE MANS
LM 701

Defending Champion

Interview
ディフェンディング・チャンピオン金鍾徳が語る

感涙の初優勝、 そして「夢」



キリンオープンの優勝は、自分の人生の中で最も大きな出来事のひとつとして、今でも昨日のことのようによく覚えています。実は正直なところ、最終日は自分が激しい優勝争いをしていたわけではなかったですから、そう大きな期待はしていなかつたんです。ですから優勝が決まったときは“ラッキー”の言葉しか思い浮かびませんでした。他のプロから与えてもらったと言っていいような勝利でした。

18番の第3打は、とにかく寄せてバーをキープすることだけを考えていたんです。

あの3打目はチップショットが入ってしまってラッキーなバーディーになったんですが、打つ前はただ寄せることしか考えてませんでした。バーにさえしておけばブレーオフに残れると思いましたし、ブレーオフは過去5戦4勝なんです。ボールのライが逆目のラフだったのでサンドウェッジで強めに打つたらそれが入ってしまいました。そしてその後、丸山プロがその18番をボギーにして自分の優勝が決まったときはただただびっくりでした。キリンオープン優勝のあと日本ツアーや参戦して賞金ランクも45位に入ることができました。おかげで昨年度の韓国プロゴルファーMVPにも選ばれました。ただ、日本は物価も高く経費も沢山かかってしまいますが、幸いにも私には日本在住の古くからの知人の会社「山善興産(崔鍾太社長)」が金銭的なサポートをしてくれていて、そのお陰でプレーに集中することができています。

日本ツアーや選手、コースコンディション、賞金額、どれをとってもレベルがアジアツアーの数倍ぐらい高いですね。レベルだけではなくプレーヤーやギャラリーのマナーも良くて、すごく魅力的なツアーです。今年は私は22試合ぐらい出場する予定で、賞金ランク30位以内を目指します。韓国にもツアーがあって11試合開催されていますが、そちらには4試合に出るつもりです。

青木功さん、J.ニクラウスさんを尊敬しています。

22才からゴルフを始めて25才でプロになり、初優勝は29才のときでした。その頃

から青木さんとニクラウスさんにあこがれ、尊敬しています。何故かと言えば2人とも強いし、努力するし、楽しくプレーして、そしてマナーも良いからです。この2人に一步でも近づきたいですね。特に青木さんは米ツアーへ行ってあれだけ活躍していますから、私も日本で活躍できるように努力します。日本語ももっと勉強しなくてはいけませんね。

自分に続いてもっと多くの韓国のプレーヤーが日本で活躍してくれるのが夢です。

昨年勝ったのは西コースですが、私としては実は東コースの方が好きです。東コースでも好スコアを出していますし、自分のプレースタイルから東コースの方が合っている気がします。いずれにせよ、茨城GCは

金プロの優勝は10番ティーグラウンドの横で知りました。

(茨城GCキャディー・長塚さちよさん)

去年の金プロの優勝は、本当にびっくりしました。プロもそうだったと思いますが、私もブレーオフになるだろうと思ってましたし、係の人からはブレーオフの準備をして下さいと言われたので、人の少ない10番ティーの近くへ行きました。そこで待っていましたら18番グリーンで歓声が上がって、しばらくするとギャラリーの方々が口々に「金が勝った」と言っていたのを聞きました。それにもしても金プロはバットとアプローチが上手ですね。特に18番のチップインバーディーになっ

た大逆転優勝の昨年大会から1年、日本ツアーやシード選手として活躍する金鍾徳が今大会にはディフェンディング・チャンピオンとして登場する。

本当に素晴らしいコースで、韓国や他のアジア各国のコースに比べればグリーンをはじめとして格段にいいコースです。整備も行き届いています。また、昨年私が勝ったときもハウスのキャディーさんにずいぶんと助けられました。

将来的には私の優勝がきっかけで、私を含めもっと多くの韓国のプロが日本やアジア各国で活躍できればと思っています。ただ、女子では具玉姫、高又順、金愛淑などが日本で勝っているように技術的には差はありませんが、男子では日本と韓国の差はまだ大きく開いているのが事実です。ですから私ももちろん、後輩たちもかなり努力しないと活躍は難しいでしょうね。その意味でもまず私が日本で頑張っているということを証明するためにも今年は賞金ランク30位以内を目指してプレーしますし、キリンオープンでは是非タイトルを守って2連覇したいと思いますので期待して下さい。

たアプローチは、ライは逆目で、入ったのは奇跡ですよ。あいいうのがプロの技と言ふんでしょうね。私は大会ではキャディーとして3年目だったんですが、こんなに早く優勝を経験できるなんて思ってませんでした。とにかく試合中に倒れたりしてプロに迷惑をかけてはいけないとあってたくさん食事をして体力をつけてました。そんな私にプロも気を遣ってくれ、言葉はあまり通じないんですが、バナナや飲み物をくれたりしました。その金プロに早く会いたいんです。自分で金プロに、と思ってコーヒーカップを作ってるんですが、会って渡したいですね。そして今も、もし金プロのキャディーをすることになったら、また精一杯がんばりたいと思います。



【実用新案登録番号第2544362号】

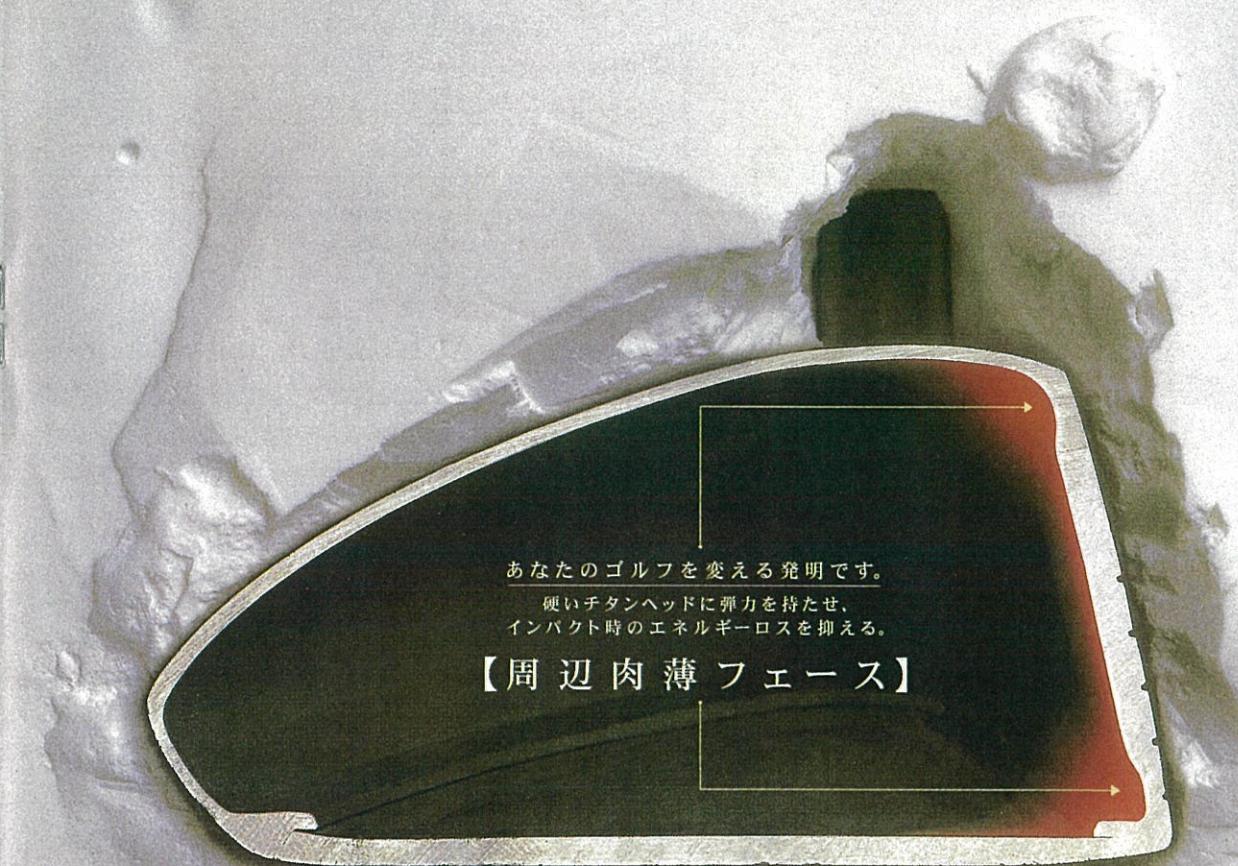
あなたのゴルフを変える発明です。
ヘッドの重量を四隅に配分、
スイートエリアを大きく広げた。

【クォーターバック設計】



あなたのゴルフを変える発明です。
硬いチタンヘッドに弾力を持たせ、
インパクト時のエネルギーを抑える。

【周辺肉薄フェース】



大きなスイートエリアで、キャリーを伸ばす、きわどく狙える。

クォーターバックキャビティ

キャビティのスイートエリアは、まだまだ狭かった。ヘッドの構造ひとつで、ミスショットは確実に減らせるのです。ダンロップがまず着目したのは、ヘッドの重量バランスでした。バックフェースの四隅に重量を配分し、絶妙の重量バランスを実現。スイートエリアをぎりぎりまで広げたのです。またボールを上げやすいよう、低重心への配慮も徹底しました。大きくとらえる、きわどく狙える。一番手上のキャリーを実感してください。

ナイスショットを呼ぶ、さまざまな工夫があります。



軽量スナップシャフト
プラスチックと同様、新開発の軽量シャフトを採用。抜特の粘りとしなやかさで、素にボールが上がります。



プラスウェイト
ソール部に真鍮を埋め込んで低重心化(=3~6)。ボールが上がりやすく、さらにキャリーを稼げます。



チタンパイプネック
ロングアイアンのネック部には、比重の軽いチタンパイプを採用(=3~5)。重量をさらにソール側に移動させました。



新登場

**tangent
Quarter Back**

メンズ: 250,000円/10本セット(=3~9, PW, AW, SW)
レディス: 198,000円/ 8本セット(=5~9, PW, AW, SW)
●価格はメーカー希望小売価格(消費税別)
※SWのみステンレスフェースを採用



あなたのゴルフが、大きくなれる。
胸のすぐ快感、心の躍る楽しさを、
すべてのゴルファーへ。
そんな革命がダンロップから。

「タングエントプラスデン」「タングエントクォーターバック」の飛びの最新テクノロジーの全てをFAXでお届けしています。
FAX情報は► FAX電話から東京 03(3940)6000 大阪 06(455)6000をダイヤル。音声ガイドに従ってBOX

「インピーダンス・マッチング理論設計」で、大きく飛ばす。

弾力チタンヘッド

飛距離を伸ばすカギは、振動数にあります。ヘッドとボールには、それぞれ固有の“インピーダンスの振動数”があります。その差が小さいほど、ボールはよく飛ぶのです。この「インピーダンス・マッチング理論」をベースに、ダンロップが考えたのは、フェースの周辺を内薄にすること。チタンヘッドに弾力を持たせ、“インピーダンスの振動数”をボールに近づけたのです。ヘッドのエネルギーを、効率よくボールへ。「もう10ヤード」のための新構造です。

飛びの性能を支える、さまざまな工夫があります。



ミーリングブレード
ロフトに合わせてミーリングブレードを配置。番手別シャローバック形状との組合せで、距離が稼げます。



軽量スナップシャフト
先端部がよくなり、スイング軌道は自然にアーチブローに。打ち出しが高くなり、強い弾道が得られます。



ハンマーバランス設計
シャフトとグリップを軽量化し、重量をヘッドに集中。軽く振っても早いヘッドスピードが得られ、反発力がアップします。


**tangent
PLUS TEN**

メンズ: 70,000円/本(W1), 65,000円/本(W3, W5, W7)
レディス: 70,000円/本(W1), 65,000円/本(W4, W7)
●価格はメーカー希望小売価格(消費税別)



“61”の軌跡

倉本昌弘の驚異のコースレコード

今大会と同じ茨城GC・東コースで開催された1983年大会の最終日、当時プロ入り3年目の倉本昌弘が信じられないような猛チャージを見せた。

大会は2日目が雨で中止となり3日間54ホールの競技に短縮されたのだったが、1、2Rを71、70の通算3アンダーでまわった倉本は、67、65でラウンドして12アンダーでトップのラリー・ネルソン(米)から9打差という大差でスタート。そして1番ホールでいきなりイーグルを奪うなど終わってみればこの日2イーグル、7バーディ、今も破られていない11アンダー61というビッグスコアで東コースのコースレコードをマークした。そこで、大会関係者、コース関係者も全く予想もできなかつたこの衝撃的なコースレコードを打ち立てた本人に、その“チャージゴルフ”について改めてインタビューした。

また、インタビュアを務めたのは今大会のトーナメントディレクターである山中博史。実は、山中はこの試合で、倉本の猛チャージをわずか1打差でしのいで逃げ切り優勝を果たしたネルソンのキャディーを務めていた。

ネルソンの逃げ切り優勝をアシストした“キャディー”山中が、今、トーナメントディレクターとしてビッグスコアを検証する。

山中 きょうは、1983年大会の最終日に61という驚異的なスコアをマークされた倉本さんに、そのスコアのこと、コースのことなどを中心にいろいろお伺いしたいと思います。まず、最初にお聞きしたいのは、トップのネルソンに9打差をつけられてスタートし、いきなり1番のパー5でイーグルを奪ったわけですが、それも含めてこの日、大爆発するような予感というようなものは朝からあったのですか?

倉本 そうですね、その年は確か雨で2日目が中止になったんですが、最終日はトップとかなり離っていましたから、優勝とかトップに追いつくとかの意識はありませんでしたし、ましてや予感なんて全くありませんでした。ただ、一緒にラウンドしていたのが飯合さん(飯合肇プロ)と湯原くん(湯原信光プロ)で、3人ともリラックスしてまわっていたような気がしますね。

1番はいきなり イーグルでスタート

山中 リラックスが1番のイーグルにつながったんでしょうか?

倉本 1番は、セカンドショットを先に打った湯原くんのボールがグリーン奥に1バウンドして大きくグリーンオーバーしたのを見て、手前から攻めた方がいいと思って3番アイアンで打ったんです。そうしたら、グリーン手前のバンカーを越えたところにうまく落ちてそのままグリーンに乗って転がってピン30cmにくついたんです。楽々イーグルでした。

山中 2番、3番ホールはかなり距離の長いパー3、パー4ですが、いずれもパーでしたね。

倉本 2番は寄せワン、3番も462ヤードありましたが、パーでした。

山中 そして4番(パー4)、5番(パー4)ホールと、今度は連続バーディがきました。

倉本 4番は4m、5番は1mにつけてのバーディでした。5番は、2打目に木がじゃまになってかなり強いスライスボールを打たなければならなかったんですが、8番アイアンで強烈なスライスをかけて1mにつけることができました。

山中 このあたりで波に乗って来たという感じですか?

倉本 そうですね、5番のバーディで、一緒にまわっていた二人と“きょうは何だかいいスコアが出そうだね”なんて話してたような気がします。

山中 6番(パー3)はパーでしたが、また7番(パー4)でバーディがきましたね。

倉本 6番はグリーンのカラーでピンから近かったんですが入らずにパー、7番はスプーン、ショートアイアンで1mにつけてバーディでした。

山中 ティーショットでスプーンを使ったホールは多いんですか?

倉本 この7番を含めてアウトでは4~5ホールでスプーンでしたね。

山中 やはりそれは狙ったところに確実にボールを置きたいということですか?

倉本 東コースは距離が長いからとにかく飛ばないと、と思われがちですが、このときも距離は抑えても次のショットが打ち易いところへということを優先してプレーしていました。

9番で2つ目のイーグルを 奪ってハーフ29!

山中 そして8番(パー4)をパーとしたものの、9番(パー5)では何とこの日2つ目のイーグルでした。

倉本 9番は風がアゲインストになりましたから2打目はスプーンで打ちました。それが3mについて、パットも入ってイーグル。これでハーフ29ですか。

山中 9ホールで2イーグル、3バーディというものがすごいゴルフでした。そしてハーフ

証人一



飯合肇プロ

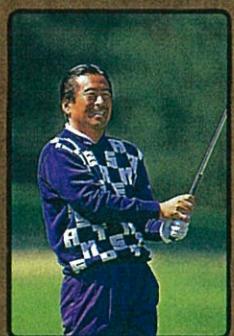
あの日のマッキーは勢いがみなぎっていたね。当時の東コースは今よりグリーンも小さくて、あそこで61なんというスコアはふつう運がないと出ないんだけど、あの日はラッキーなしの61だからね。横で見ていた、ああ~ゴルフってかんたんだなって感じだったね。あの頃の僕はまだかけだしで、大きな大会の経験も無かったし…いやあ~一緒にまわっていて、すっかりギャラリーになってしまったよ。ちなみに僕は83でした。

が終わったこの時点で、この日7アンダー、通算では10アンダーで、トップのネルソンには3打差まで詰め寄りましたが。

倉本 ハーフ29でまわってもまだトップと3打差ですよ。ですから周りが思ってたようにトップに立つとか、優勝するとかは全く考えてませんでした。それに、最終組のすぐ前の組でまわっていたわけでもなかったですから、優勝争いといった感じもなかつたですね。

山中 そうすると、それほど優勝とか意識しないで後半のハーフに突入していったわけですね。それでいきなり10、11、12番と3連続バーディですか?

証人二



湯原信光プロ

何せ神がかり的なゴルフで、一緒にまわっていてすごく楽しかった記憶がありますね。1番でイーグル、5番で木の真後ろから強烈なスライスをかけてピンそば、9番でもイーグルでしたね。インに入っても10番、11番と絶対に入りそうもないパットが入ったり、本当にすごかったです。

マッキーはジュニアの頃から一度波に乗ると手がつけられないタイプでしたけどそれにしても当時のクラブ、ボールを使ってあの東コースで61ですからね……一緒にプレーしていた僕は74だったのですが80ぐらい叩いた感じでした。

倉本 10番(パー4)はフォローの風でしたからドライバー、7番アイアンでピン右上8m、11番(パー4)は1m、12番(パー4)も近かったです。これでこの日だけで10アンダー、トータル13アンダーになったんですね。そうしたら湯原くんが「倉本さん、これはひょとしたら、ひょっとしますよ」なんて声をかけてくれたんですが、次の13番(パー3)ホールでティーショットを打つのをちょっと待たされたんですよ。

ティーショットを待って 勢いがストップ!

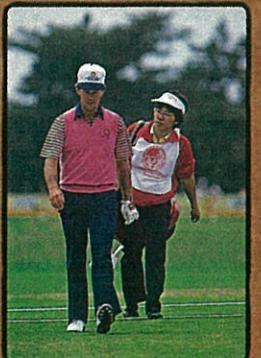
山中 テレビ放送の関係でしたね。生放送でしたから、調整しなくてはいけなかったんでしょう。

倉本 そうしたら、それまでの勢いがピタッと止まってしまいました。13番はグリーン右のバンカーから寄せワンでなんとかパー、14番(パー4)はグリーン手前のエッジからパー、15番(パー5)は1打目が右の林、2打目は出しただけで3打目を4番アイアンで打って1.5mにつけたんですが、これをはずしてパー。

山中 ほんとにピタッと止まってしまいましたね。

ギャラリーの大歓声で ネルソンのイーグルを知る

倉本 その15番を終わって、飯合さん、湯原くんと「(このパー5でバーディが取れなかったから)きょうはこれで(優勝は)難しいね」なんて話してましたよ。それで次の16番(パー4)でも8mが入らずにパー。17番(パー3)に入ってここもパー。そのパーパットを打ち終わった時に前の16番ホールのグリーンから大歓声が聞こえてきたんですよ。あれが、ネルソンのイーグルの大歓声だったんですね。そこで、きょうはこれで優勝はないな、と思いましたね。



ネルソンの16番のイーグルは、
170ヤード以上の第2打を8番
アイアンで打って直接カップ
インしたものでした。キャディーの私は、もう少し長いクラブ
の方がいいんじゃないかな
と思いましたが8番で、フォローの
風を利用して手前からのラン
を計算していましたね。まさに超一流の技術でした。(山中)

最終18番(パー5)は強めのアゲインストの風で、セカンドショットがグリーンに届かず右のバンカー手前。そこからアプローチで2mに寄せて、これを入れてパー5でした。

山中 このパー5が入ってインは13バットで32。アウトの29と合わせ、トータル61というすごいスコアが生まれました。それにしても、やはり13番でちょっと待ったというのが痛かったです?

倉本 あそこがキーポイントだったと思います。勝負という面で言えば、残念でしたね。その前までの流れのままで行ったら勝った自信はあります。でも、そういうことも勝負の中にある流れの一つですから、しょうがないんじゃないですか?

山中 話はちょっと横道に逸れます、聞いたところによりますと、この大会の初日が終わったところでネルソンから何かアドバイスを受けられたとか。

倉本 そうなんです。スwingについてなんですが、練習場で「フォローあまりのけぞらないようにしたほうがいい」と言われたんです。スwingがお互い似ていることもあって、当時ネルソンが日本に来るたびにいろいろ教えてくれました。

東コースはハイスコアが出る!

山中 それにしても、すべてのゴルフ道具が大きく進歩した現在と全く違う状況の中、東コースでの61というスコアは大変なものでした。それも、まだいくつかのパー5が入ってますからね。

倉本 1978年に郭吉雄さんが4日間で23アンダーを出していることでもわかるように、東コースはハイスコアが出るコースですね。

山中 それはどうしてですか?

倉本 東コースは西コースに比べて戦略性に富んでいると思いますよ。つまり、自分のイメージしたところにキッチリ打つければ攻略しやすいコースとも言えるんです。うまく攻めればいいスコアも出ますよ、西コースよりも。

山中 当時のグリーンは今から比べるとずいぶん小さいグリーンでしたね。

倉本 小さい上に、周りが落ちている造りになっていましたから本当にいいショットを打たないとパー5チャンスにつながりませんでした。

山中 61は、やはり当然のことですがショットとバットが噛み合ったわけですね?

倉本 だんだん噛み合っていったという感じでした。ハーフを29でまわったのはこの時が初めてだったんですが、ターンして10

番ホールをパー5としたところからハイスコアということを少し意識し始めたような気がしますね。もちろん、ギャラリーも最初はあまり多くなかったです。大勢のギャラリーは最終組のネルソン、中島常幸さんたちの組についてましたから。でも、10番ホールぐらいたるすい数になってきましたね。

山中 そんなとき、ギャラリーのことはどういうふうに見ているんですか?

倉本 けっこう冷静に周りを見て、ずいぶん多くなってきたな、とか思ってましたよ。

山中 こんなすごいスコアを出したということは、体調なんかも良かったんでしょうね。

倉本 あまり関係ないですよ。体調が悪くて丁寧にプレーして逆にいいスコアが出ることもありますから。もちろん、体調が悪いより、いいに越したことないんですけど。

山中 当時、道具は今と比べてどうでしたか?

倉本 使用クラブ的には、同じホールでしたら今の方が若干短いクラブを使えるようになったでしょうね。

山中 ドライバーはやはりパーシモンで、スチールシャフト、ボールは糸巻きでしたね。

倉本 そうですね。でも東コースはボールをコントロールしないといいスコアは出ないし、ボールを曲げないといけないホールもありますから、いちがいに飛ぶクラブ、飛ぶボールができたからといって、それがすべてを変えてしまうとは思えませんね。

山中 倉本さんは61のあとにも64とか、いいスコアを出していますが、この東コースは相性がいいとか、好きとか、いかがですか?

倉本 いいスコアを出しても、この大会ではまだ勝っていないからね。でも、グリーンが小さめだったことや、ホール全体のロケーション、特にセカンド地点からグリーンを見たときのロケーションは良かったですね。今は何ホールか改造されて、当時とは若干イメージが違うように感じますね。

山中 私たちが一般的に考えるのは、東コースは距離が長いからロングヒッターが有利、西コースはそれに比べてテクニカルが必要となるというようなイメージがあるのですが、いかがですか?

倉本 西コースは、現在のクラブとボールならハザードを悉く越えてしまいますから易しくなるでしょうが、東コースはハザードを越えるというより、ポイント、ポイントにしっかり打ついかなくてはなりませんから、その意味で難しいんじゃないですか? いちがいに距離だけで難しい、易しい、あるいは攻めやすい、攻めにくいとは言えませんよね。

戦略性の高さが

いいプレーを生む

山中 つまり、ティーグラウンドに立ったときに、ボールをどこに打ついかなくてはいけないのか、ということをじっくり考えさせるコースでないと、ということですね、戦略性という点では。とりあえずまっすぐ打っておけばよい、というのではなく。

倉本 最近は戦略性の高いコースセッティングということがよく言われますが、もっともっとフェアウェイとラフの差をしっかり出すことが必要だと思います。ラフに洋芝をオーバーシードするなんということも一つの方法だと思うんですが。

山中 今後、さらにいろいろ研究してみたいと思います。最後になりますが、今年のキンシオープンに向けての抱負をお聞かせ願えますか?

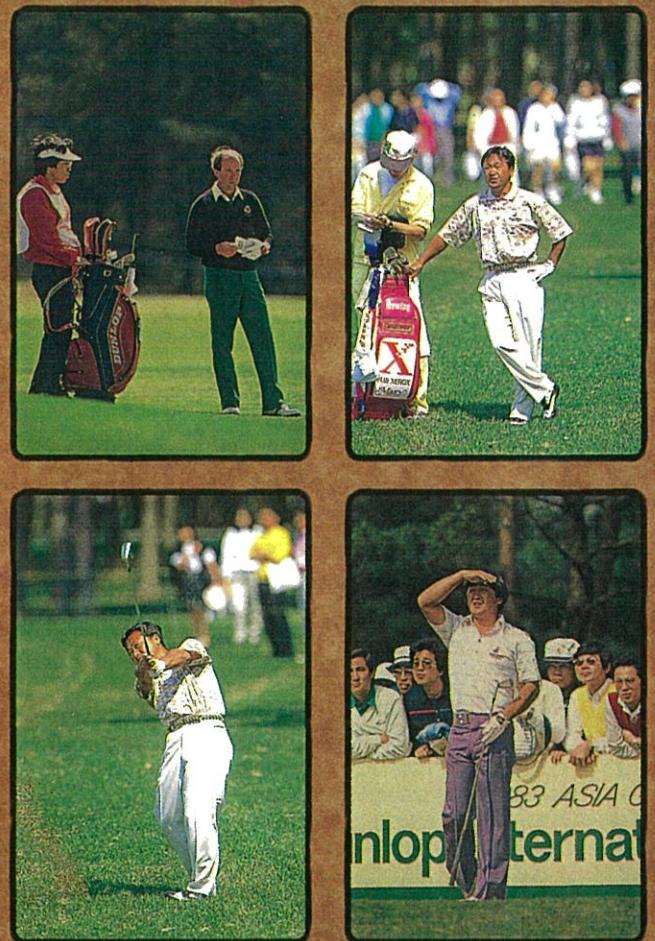
倉本 そうですね、やはりこの大会は一度も勝ってませんし、他の試合でもすべてそうですが、出場するからには優勝を目指してプレーするだけですね。

山中 それとこの大会はアジアンツアーの1試合もありますから、各国を転戦していろいろな国の人々も多数出場しますが、彼らとも戦うことになりますね。

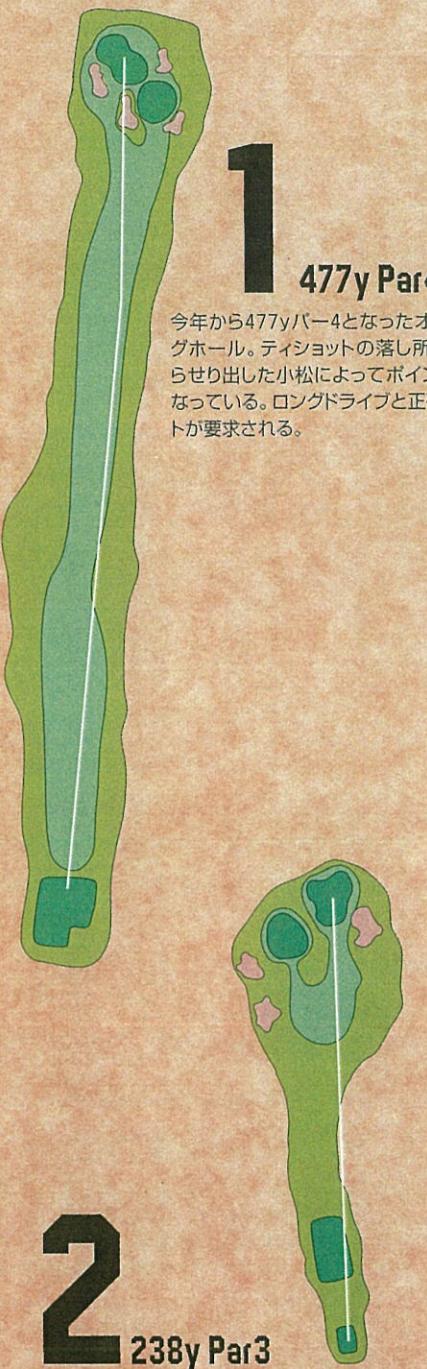
倉本 アジアンツアーに出場しているプロのレベルというか、実力もかなり上がってきていますね。ただ、このところ台湾勢にちょっと元気がないような気がしますけど。いずれにしても日本のツアーで最も国際色豊かな大会ですから、その意味でも選手はみんな気合いが入るでしょうね。

山中 是非、今年も爆発的なスコアを期待しております。きょうは、どうもありがとうございました。

クラブやボールが当時と比べて大きく進歩した現在ならざ知らず、この東コースでパーシモンと糸巻きボールでの61というスコアはまさに驚異的なスコアと言えるでしょうね。このスコアがゴルフファンに強烈なインパクトを与えたことを覚えています。(山中)



東コースは距離が長いんですが、セカンドショットが打ち易いところへ1打目を打つておくためティーショットにスプーンをよく使いましたね。ここは風も読みづらいし、左の松林もきいてますから、ポジショニングプレーがスコアに直結するんじゃないでしょうか。(倉本)



1

477y Par4

今年から477yパー4となったオープニングホール。ティショットの落し所は両側からせり出した小松によってポイントが狭くなっている。ロングドライブと正確なショットが要求される。



3

462y Par4

やや左ドッグレッグのホールでティショットの狙い方によって残りの距離は大きく変わる。フェアウェイ左サイドのバンカー右目がベストポジション。このホールまでをオーバーパーをせずに通過できればその後の展開も変ってくる重要なホールだ。

2

238y Par3

4つのパー3ホールの中では最も距離が長く、風によってはドライバーを使う場面も出てくる。小さ目のグリーンはプロの技を試しているかのようだ。グリーン周りのアプローチがバーセーブの決め手になるだろう。

挑戦を待つパー71

22回目を迎える本大会だが、この東コースでの開催は今年で11回目で、過去10回の平均優勝スコアは11・2アンダー。今年はパー71となり、より戦略性が高まつた。そこで、茨城GCの佐藤正一プロに東コースを語つてもたつた。

22回目を迎える本大会だが、

この東コースでの開催は今年で11回目で、

過去10回の平均優勝スコアは11・2アンダー。

今年はパー71となり、より戦略性が高まつた。

そこで、茨城GCの佐藤正一プロに

東コースを語つてもたつた。

5

415y Par4

第1打落下地点の左右にある3つのフェアウェイバンカーがティショットを難しくしている。加えてグリーン正面に大きなバンカーが口を開けていてプレッシャーを強くしている。奥はOBもあり、ミドルアイアンの正確さが要求される。

6

192y Par3

プロにとっては問題のないホールだが、左側を林に囲まれていて風が巻きやすいためクラブ選択が難しい。グリーンは受けているので比較的バーディも多い。



佐藤 正一

Shoichi Sato

1947年北海道生まれ
茨城ゴルフ倶楽部ヘッドプロ
79年フジサンケイクラシックで青木功、ジャンボ尾崎と優勝を争い、ビッグネーム2人を退け堂々のプロ初優勝を飾った。今季よりシニアツアーでの活躍が期待される。

7

395y Par4

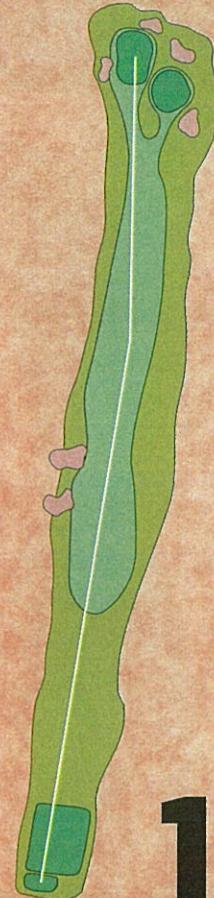
東コースの中ではバーディホールのひとつ。ティショットは左サイドへ飛び過ぎると林につかまるが、ショートアイアンで打てるため確実に乗せたい。グリーンは真中から奥が下っているので注意が必要だ。

8

424y Par4

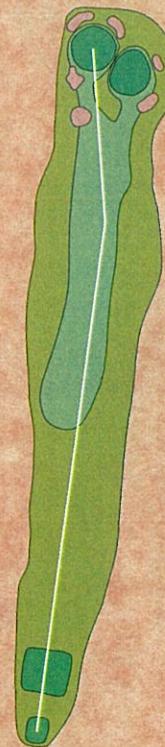
トーナメント中で一番バーディの多いホールだ。ティショットはマウント右の小松に注意。グリーン周りは問題ないが、グリーン上には小さなコブが3つあり、アプローチショットを難しくしている。





11
382y Par4

平均スコアがアンダーパーになるホールで必須のホール。やや打ち下しのティショットは思い切り打てるが、ショートアイアンのセカンドは打ち上げになる。グリーンオーバーは避けたい。

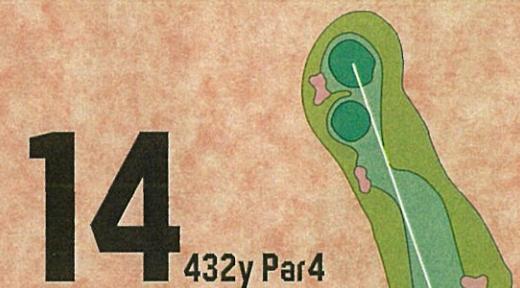


12
389y Par4

フェアウェイ左サイドのバンカーから左側は谷になっていて「地獄谷」のあだ名もついている。右サイドの稜線あたりの平らな場所からはセカンドの距離も合わせやすい。

10

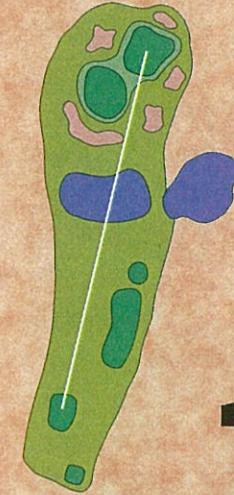
459y Par4
後半のスタートホールだが距離がたっぷりあり、難易度の高いホールだ。ティショットはフェアウェイ右狙いがベスト。グリーン面は左に傾いていて乗ってからも左のバンカーへ転り落ちやすいので注意。



173y Par3

ティとグリーンの間は低く落ち込み池になっていて、下から吹き上げる風が距離感を難しくしている。小さなグリーンへ確実に止まるミドルアイアンショットが要求される。

13



14
432y Par4

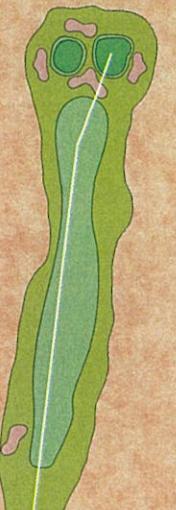
左ドッグレッグホールで、ロングヒッターは林の上を狙うショートカットも可能だが、3番ウッドで右バンカーの手前に置くのも策の一つだ。グリーン右サイドは傾斜になっているここには落とさたくない。安全ルートは左手前目になるだろう。

11
382y Par4

平均スコアがアンダーパーになるホールで必須のホール。やや打ち下しのティショットは思い切り打てるが、ショートアイアンのセカンドは打ち上げになる。グリーンオーバーは避けたい。

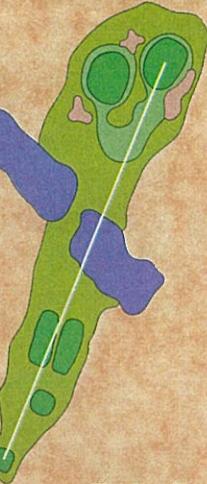
15
537y Par5

インコースで最初のパー5。ここでバーディを取れるかどうかで順位が大きく入れ替わるだけに、ティショットでバンカーには入れたくない。2打目はアイアンで届く選手もいるだろうが、グリーン手前のガードバンカー手前に刻むのも作戦だろう。



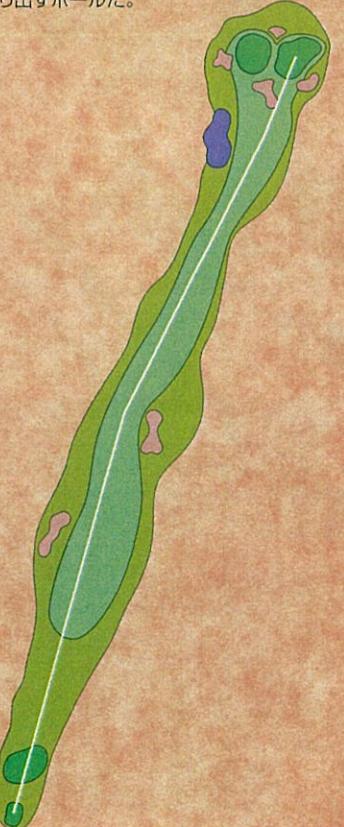
17
230y Par3

大詰めにきてこの距離のある、しかも小さなグリーンのパー3は多くの選手を泣かせてきた。通常アゲインストの風が強く、パーイン率がとても低い。いかにパーで切り抜けるか、選手の必死のショートゲームが見ものだ。



18
519y Par5

優勝争いでこのホールは普段の十倍もプレッシャーがかかるレイアウトだ。左側はグリーンまでOBが続きフェアウェイは細い帯のように感じられる。グリーン100y手前左側には小さな池があり2打目を刻むか、池の横へ勇気を出して打つか、それとも2オンを狙うのか、迷うところ。そして、2段グリーンをどう攻略するのか、見る側にとっては楽しみが多く、優勝争いに劇的なドラマを作り出すホールだ。



パー7になり、あの茨城GCの東コースがより一層タフになり、アジアの強豪達を迎える。更に“風”という自然条件を従えて今年の東コースは優勝者にどんなスコアを許すのだろうか、最終日の18番グリーンでその答えが出る。

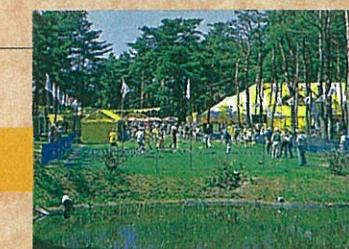
16
449y Par4

ティショットはフェアウェイ250y付近の平らな地点に置きたい。ここからはまだ170~180y残るがグリーン周りは花道が広く開けているのでグリーンに乗せるのは苦にならないだろう。1983年にはラリーネルソンが残り170yを直接カップインさせ、イーグルを奪い優勝を決定づけたホールだ。



Ibaraki Golf Club Course Layout

East Course



チャリティパッティングコンテスト
TVゲームドライビングコンテスト

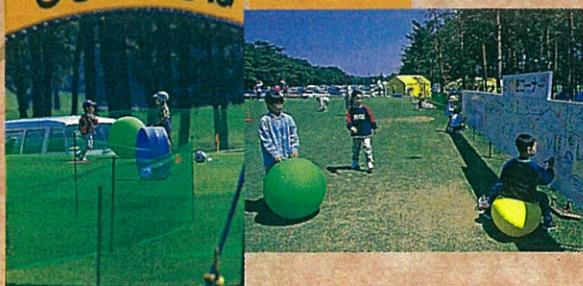
総合案内所
日本ゴルフ協会ブース



- ギャラリー売店
- 123 ピンゴラリーポイント
- 456 ギャラリートイレ
- ギャラリート受付
- ▲ ギャラリースタンド
- 速報板
- ▲ ダンロップアウトレットショップ
- バス発着所
- 公衆電話
- ジュニア専用観戦スペース(高校生以下)
- 身障者専用観戦スペース

こどもひろば

子供広場



ギャラリープラザ
アジアグルメコーナー
ピンゴラリー抽選会場
チャリティフォト受付(土日のみ)
ダンロップ記念セール



Asian Tour History

アジアンツアーアのスタートは
1962年、わずか5カ国から

アジアンツアーアは今から36年前の1962年、カナダのシーグラム社の提案でそれまで個別に開催されていたアジア各国での試合をひとつのツアーアにしようと始まったのが最初で、その名称は「極東ゴルフサーキット」だった。初年度の参加国はフィリピン、シンガポール、マレーシア(当時はマラヤ)、香港、そして日本の5カ国で、その後、タイ、台湾、インド、韓国、インドネシア、パキスタンなどが加わって37年目の今年は11カ国・地域、18試合(賞金ランク対象は10試合)へと成長した。この間、ツアーアの名称も「アジアンツアーア」となり、現在ではツアーア参加国以外の国も加わって24カ国から成る「アジア太平洋ゴルフ連盟」がツアーア全体を統括している。

欧米のトッププロも多数参加

記念すべき初年度の1962年、この極東ゴルフサーキットには12カ国の67名が参加して実力を競い合った。日本からは中村寅吉、小針春芳、林由郎、藤井義将、勝俣敏雄、杉本英世、石井哲雄、松田司郎、盛岡比佐志の9名で、この日本を含めたアジア地域では5方國23名が参加。対して欧米・豪州からはアメリカ4、カナダ2、イギリス9、スウェーデン1、南アフリカ4、オーストラリア22、ニュージーランド2の7カ国44名が参加し、初年度の5試合すべてをこれらアジア以外の国の選手たちが制すという結果となった。その後も欧米・豪州からは後にメジャータイトルホルダーとなつたG.ノーマン、I.ベーカーフィンチ、S.シンプソン、J.スルーマン、P.スチュアートら、そして現在も各國のツアーアで活躍するV.シン、C.バリー、J.クックらの実力者たちも大勢参加してきている。

日本勢も再び活躍の舞台に

初年度からこのアジアンツアーアに参加してきた日本勢だが、昨年までの36年間で挙げた勝利数は45勝を数えている。もちろん、日本のこのキリンオープンでの勝利が最も多く15勝だが、日本以外のアジア各国でも2倍の30勝を挙げてきた。そしてこの45勝のうち記念すべき1勝目を挙げたのは川奈出身の石井

36年の歴史と伝統

一企業の呼びかけで始まつたツアーアが、アジア各国のゴルフ振興と国際親善に大きく寄与しつつ発展してきた。
36年の歴史と伝統が今まで注目されている。



シーズン初戦の毎経LGファッショントーナメントを制したのは韓国の辛容振。自己通算3勝目は嬉しいアジアンツアーア初優勝となった。

Shin Yong Jin 3/4, 1997 Maekyung LG Fashion Open



台湾オープンで優勝を飾った蔡啓煌(台湾)もアジアンツアーア初優勝だった。プロ入り8年目(29才)で通算2勝を挙げている。

Tsai Hsi Huang 3/8, 1997 Chinese Taipei Open

朝夫で、1964年のマレーシアオープンだった。石井は翌年もこのタイトルを連覇するなどしてアジアンツアーアでは合計3勝を挙げた。海外ではこの石井を含めて安田春雄、杉本英世、河野高明の4人が3勝づつを挙げ、それ以外にも橋田規、杉原輝雄、高橋勝成、金子柱憲、金井清一らが優勝を飾っている。そして海外としては1986年の金井清一(香港オープン)以来9年間にわたって日本勢による優勝がなかったが、1996年のインド・オープンで白湯英純が10年ぶりに、また昨年はサウスウッズ・オープンで野上貴夫、翌週のマニラ・オープンで今野康晴が連続して優勝を飾り日本勢としての活躍をアピールした。今シーズンはここまで未だ優勝はないだけに、残る2試合で日本勢がどんな結果を見せるのか、その意味でも注目される。

歴代の「総合優勝者」たちが日本のシード権を得て大活躍

アジアンツアーアでは、スタート時からその年の総合優勝者を決定してきたが、1962年は日本の大会(当時は「読売国際オープンゴルフ選手権」)を制したP.トムソン(豪)が輝いた。以来36年にわたり数々の総合チャンピオンが誕生したが、1990年からは総合優勝者に対し1年間の日本ツアーア出場権が与えられるようになった。その権利を生かして今ではF.ミノザ、R.ギブソン、T.ハミルトン、B.ワッツ、C.フランコ、B.ジョーブ、金鍾德らが日本ツアーアで大活躍を見せる。歴史と伝統に支えられたアジアンツアーアのレベルの高さがここでも証明されている。果たして今年はどの国の選手が総合チャンピオンに輝くのか、その結果が注目されるところだ。



ロレックスマスターズで今季2勝目を挙げたF.ミノザ(フィリピン)。この後もう1勝して、現在賞金ランクは堂々の第1位。

Frankie Minza 3/1, 1997 The Rolex Masters



マレーシアオープンを勝ったのは英国のエドワード・フライアットでアジアンツアーア4勝目。賞金ランク3位につけ、逆転で総合優勝を狙う。

Edward Frysatt 2/22, 1998 Malaysian Open



3月のクラシック・インド・オープンでアジアンツアーア初優勝を挙げたF.アリ(インド)。賞金ランクも現在10位につけている。

Faz Aliz 3/13, 1998 Classic India Open



アジアンツアーア
エグゼクティブディレクター
Executive Director - Asian Tour
JOHN BENDA

John Benda
ジョン・ベンダ

On behalf of the Asian Tour it is my pleasure to welcome all the participants to the 1998 Kirin Open Golf Championship. The Asian Tour, under the auspices of the Asia-Pacific Golf Confederation, is Asia's premier professional golf tour. It draws professionals from more than thirty five nations and this year's Kirin Open field will again include some of the world's top ranked players. It certainly promises to make for an exciting and competitive tournament.

For the past thirty seven years the Asian Tour has been home for the most celebrated golf tournaments in the region. This event, one of the Tour's founding Member Tournaments, now in its third year with Kirin as the title sponsor, has always been considered one of the most prestigious titles on the Tour. With the commitment of Japan Golf Association, Dunlop Japan and Kirin, the event is assured of ascending to the highest level. The Asian Tour is honored and privileged to have the opportunity to work with such distinguished sponsors and we look forward to a long and successful relationship.

Finally, I would like to thank the everyone whose combined efforts make it all possible and my special thanks to the Ibaraki Golf Club for hosting this event on their beautiful course.

Let us all enjoy the tournament.

この度、1998年度キリンオープンゴルフ選手権競技に参加される選手の皆様を、アジアンツアーアを代表して心より歓迎致します。

アジア太平洋ゴルフ連盟後援のアジアンツアーアはアジア最古のプロゴルフツアーアであり、35ヶ国以上の国から選手が参加しております。本年度のキリンオープンにも多数の世界トップランクの選手が出席し、トーナメントが厳しく白熱したことをお約束いたします。本大会は、アジアンツアーアの基礎を築き上げたトーナメントの一つであり、特別協賛にキリンビール株式会社を迎える3年目となり、アジアンツアーアで最も名譽ある試合とされています。関係者の御努力により、この試合は確実に最高レベルのトーナメントにのぼりつめています。

このような素晴らしい大会がアジアンツアーアにあることは、私達にとって非常に光栄なことであり、今後も末長く良い関係を築いて行きたいと思います。

最後に、主催者である日本ゴルフ協会及び日本ダンロップ、そして毎年素晴らしいコースをご提供して頂く茨城ゴルフ俱楽部の皆様に心より御礼を申し上げます。

Good Luck!
加油!
잘하세요!
SANA MAGING
MATAGUM PAYKA!
頑張って下さい!

1997	5/1-4 16th Maekyung LG Fashion Open
6/3-6	Chinese Taipei Open
12/5-8	Andersen Consulting Hong Kong Open
1998	
2/12-15	Philippine Masters
2/19-22	B&H Malaysian Open
2/26-3/1	The Rolex Masters
3/12-15	Classic India Open
3/19-22	The 83rd Ericsson Philippine Open
4/23-26	Kirin Open Championship
4/30-5/3	17th Maekyung LG Fashion Open

Special Edition

Takao Nogami Story

日本でのデビューはプロ合格前の'96キリンオープン

今年度版のPGAツアーガイドブックにも書かれていますが、実は僕の日本ツアーデビュー戦こそ、なんと96年のこのキリンオープンだったんです。結果は71・75で3打足りず予選落ちでしたが、自分にとっては春の茨城GCの舞台に立てたことだけでも夢のような出来事でした。僕はプロ入りが97年ですから、デビュー戦が96年の春ではちょっとおかしいと思われるでしょうが、そのからくりは、日本よりも一足早くアジアンツアーでライセンスを取得していたからです。キリンオープンは日本のツアーゲームであると同時に、アジアンツアーの一試合でもあります。つまり日本の冬期間アジア各国をサーキットするプロにとって、出場人数の限定されるキリンオープンの舞台を踏むことは最大の目標なんです。ですから僕としては実に晴れがましい思いで「凱旋」出場を果たしたわけです。

3回目の今年の大会では自分自身に期待しています

昨年もキリンオープンには2年連続で出場できました。今度は、予選は通過したんですが、最終日に78をたたいて61位という結果に終わりました。でも、一步前進、といったところでしょうか。しかし、今年は春先から日本ツアード戦で雾气回りにも慣れていましたから、成績の上でもギリと胸を張れる数字を残してみたいと思っています。他のツアーゲームはどの試合も初めてばかりですが、キリンオープンだけは3回目ですからベテランにはかなわないまでも、僕としては平常心で戦えるはずと内心期待しているんです。

修業のために日本よりも先にアジアでプロ入り。そこで力をつけて日本ツアーヘ

これまでにもアジアンツアーには、多くの先輩日本人選手が登場されてきましたが、その出場のしかたは、日本のオフシーズンでの実戦練習の意味合いが強かったと思います。でも僕はとにかくプロゴルファーとしての仕事場をアジアに見い出しました。つ



自分で作った階段

日本のプロテストに失敗した男が修業の場として選んだのはアジアンツアー。その2年目、本人もびっくりの初優勝を挙げ、自信をつけて日本のプロテストに再挑戦、見事に突破した。今年、日本ツアーリ本格参戦する「逆輸入プロ」野上貴夫がアジアンツアーでの貴重な体験を語ってくれた。



野上 貴夫(のがみたかお)

1971年、福岡県生まれ、26才。

大学卒業後、日本のプロテストを受験するも失敗。その後、世界を舞台にゴルフ武者修行を積む。手始めはアメリカのミニツアーアー。そして95~96年、96~97年にはアジアンツアーに参戦、そこで大きな勲章(97ミツビシ・サウスウッズオープン優勝)を手にする。その勢いを駆って97年、日本のプロテストを突破。今季は日本で「ルーキーイヤー」を戦っている。

——各国を転戦する中で、もっとも印象深かった国はどこでした?

ゴルフの歴史を思い知られたインド・カルカッタですね。

10カ国以上をサーキットするアジアンツアーアーの中でも、最も印象深い国はインドでした。会場のカルカッタの街に立っただけで、異国情緒という言葉だけでは片づけられない雰囲気に包まれました。しかもロイヤル・カルカッタGCは優に100年を超える伝統を持っていてその威厳を失っていません。文化としてのゴルフの奥深さを思い知られました。

——食事の面でも苦労したんでしょうね?

タイでは本場のトムヤンクンに参りました。

レストランに入ってメニューを見ながら注文するんですが、予想と全く違った料理が運んでこられるることは慣れっこになっていたつもりでも、タイで食べたトムヤンクンスープには「もう、参った」という状態でした。味も香りも分からぬほどに、トウガラシで真っ赤になったスープを一口。もう、舌も喉も焼けそうな思いです。日本でも最近はタイ料理のレストランが増えていますが、多くは日本風の味付けで、まだまだ甘いな、という感じですね。

——2年間のツアード戦で、赤字にはならなかったんですか?

2年間の収支は「ちょっと余ったかな」の程度でした。

アジアンツアーパートicipation初年度のランクインは42位でした。昨年はサウスウッズオープンでの優勝もあって9位。経費を差し引いて「ちょっと余ったかな」という感じでした。気持ち的には修行の身でしたが、やはりプロですから1セントでも多く稼がなければいけません。その意味では赤字にならなかつたことはラッキーでしたね。

まりアジア各国のトッププロや欧米からのハスラーたちと激突する中で技を磨こうと思ったんです。

一般的なゴルファーの目からアジアンツアーアーがどう映っているかは分かりませんが、僕自身が戦ってきた感覚としてはかなりレベルは高いと思っています。過去、ツアーの総合優勝を飾ったブライアン・ワットやフランキー・ミノザ、カルロス・フランコらが日本ツアーで活躍するのを見ても、そのレベルの高さはわかつてもらえると思います。しかも彼らは世界各地からやって来て、文字通り生活をかけて激しくぶつかり合っています。そうしたツアーで優勝争いしたり、賞金ランクでベスト10に入ることができれば、日本ツアーアーでも十分にやっていけると思います。

日本のプロテストは2回失敗

もっとも僕にしても最初は日本ツアーリーを目指していました。学生のときのタイトルで、94年のツアーテスト初年度は予選を免除になりました。そして当然合格すると決めつけていたんですが見事に失敗して、自分の甘さを突きつけられ、もっと苦労しそうと言われてるようでした。

とは言っても、プロ浪人生としてはもちろん試合にも出場できませんし、練習以外は何もすることはありません。そこで手始めに伝話をたよって渡米して、本場のミニツアーリーに参加しました。何試合か出場し、何回か優勝争いも経験するうちにもっとレベルの高い、しっかりしたツアーで戦いたいという欲が出てきました。その時、いっそ日本にも近いアジアンツアードで、という思いになり、クオリファイングスクールを受験したところ運良くクリアしたんです。戦いの場がアメリカからアジアに移ったというわけです。

とにかくアジアは広い

アジアンツアーリは毎週ちがう国で試合が行なわれますから、何しろ一週毎に国境を通過しなければなりません。気候は概ね「暑い」だけでしたが、言葉や風習、食事などはバラバラ。最初のうちはむしろ楽しくてキヨキヨする毎日でしたが、だんだん心細くなつて、予選カットが続いたときはさすがに里心がつきっぱなしでした。とにかくアジアは



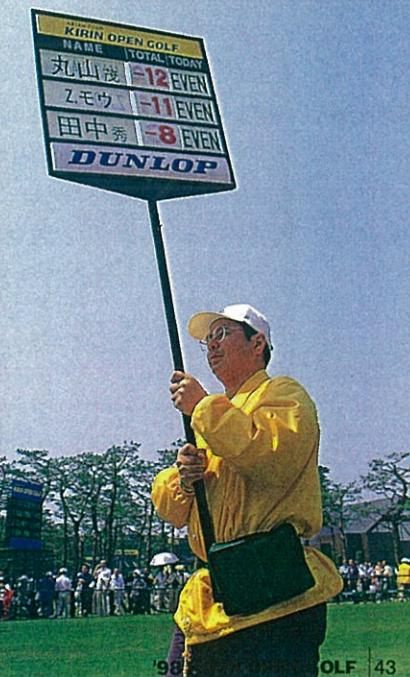
優勝した'97サウスウッズオープンの表彰式

大会を支えるフ

ボランティア&チャリティ
April 23-24-25-26, 1996
Volunteer & Charity

ボランティアスタッフ

出場選手たちが華やかで激しい戦いを繰り広げる一方、期間中さまざまな分野で大会を支えてくれるボランティアスタッフも今やなくてはならない存在。このキリンオープンでは95年大会からボランティアスタッフが参加しているが、初年度は延べ355人、2年目の96年は569人、そして昨年は672人と、毎年確実に参加者が増えてきた。



曲げない社長に、物申す！



どうぞオペレータの立場から、
油圧ショベルをもう一度見直してみてください。

お確かめください、レガの違い。

あらゆる動きが、圧倒的にスムーズでリズミカル。

■新コントロールシステムで、ブーム・アーム・バケットの動き、旋回、走行、そして、それらの連動がスムーズ&パワフル。

■「自分流」の自由設定モードをはじめ、土羽打ち、ブレーカなど、作業に応じて最適な選択ができる作業モード。

キャブ内のゆき届いた快適性も、レガならでは。

■スペースゆったり視界広々の大型プレスキャブ。

■9ヶ所11通り調節可能なシートはコンソールとの一体式(英国KAB社製)。

■業界初のオートエアコン&シートヒーター。

■ビスカスマウントにより、キャブの揺れを低減。

CATのレガだから、最高の安全環境を標準装備。

■労働安全衛生法の規格をクリアするヘッドガードキャブを標準装備。

■誤作動を防止する油圧ロックレバー。

■万一の転倒に備え、シートベルトを標準装備。

○装備はモデル・仕様によって異なります。

[新キャタピラー三菱販売会社グループ]

神奈川キャタピラー三菱建機販売株 TEL(0467)75-8101

北海道キャタピラー三菱建機販売株 TEL(011)881-6612

東北建設機械販売株 TEL(0223)22-3111

北関東キャタピラー三菱建機販売株 TEL(0485)73-9441

東関東キャタピラー三菱建機販売株 TEL(0471)33-2111

関西キャタピラー三菱建機販売株 TEL(078)935-2811

中部キャタピラー三菱建機販売株 TEL(0566)98-1113

牧港自動車株 TEL(0426)42-1115

近畿キャタピラー三菱建機販売株 TEL(072)41-1125

東中国キャタピラー三菱建機販売株 TEL(086)272-5210

北陸キャタピラー三菱建機販売株 TEL(0762)58-2112

甲信キャタピラー三菱建機販売株 TEL(0551)28-4911

四国機器株 TEL(0878)36-0363

四国建設機械販売株 TEL(089)972-1481

九州建設機械販売株 TEL(092)924-1211

牧港自動車株 TEL(098)861-1131



Volunteer & Charity

April 23-24-25-26, 1998

ボランティア&チャリティ

大勢のボランティアスタッフが会場のあちらこちで大活躍

このキリンオープンでもボランティアスタッフの参加がすっかり定着してきた。導入4年目を迎える今年は4日間で延べ800名以上のスタッフが参加する見込みで、大会と地元とがしっかりと密着していると言える。

昨年の大会に参加したボランティアに感想を聞いてみると、「できれば来年も是非参加したい」との声が多く、大会側でも受け入れ体制を早い時期から準備してきている。そのボランティアスタッフの中から何人かの声を紹介すると…。

●「2日間だけでしたが、楽しながら参加できました。来年からもずっと参加したいと思います。」(木、金の2日間、ギャラリー整理を担当してくれた阿部一雄さん)

●「初めて参加して、周りの人に迷惑をかけたかもしれませんのが、やりがいのある仕事でした。来年も絶対に参加します。」(土、日の2日間、ギャラリー整理とスコアラーを務めてくれた堀慶昭さん)

●「今年で3回になりますが、毎年楽しみにしています。来年も必ず参加します。」(土曜日、ギャラリー整理にあたってくれた邊春俊幸さん)

●「失敗もありましたが、プロの優しさと周りの人の励ましで4日間無事仕事をやり遂げることができました。感謝と友情をくれたキリンオープンに感謝します。」(4日間、スコアラーと通訳を務めてくれた金子はる美さん)

●「初めての参加に加えてスコアラーという重要な役割で緊張しましたが、大会スタッフの方が作ってくれたおいしい食事のお蔭でプロの速い歩きにもついていくことができました。」(4日間、スコアラーを担当してくれた一色弘子さん)

また、この大会で人生の伴侶を見ついた方も。

●「96年のキリンオープンにボランティアとして参加し、そこで人生のパートナーを見つけることができました。大会スタッフの方々に感謝します。」(96年、97年とギャラリー整理を務めてくれた宿澤一徳さん、いづみさん)

今年もまた多くのボランティアスタッフがコース内のあちこちで活躍します。お揃いのユニフォームを着たボランティアスタッフを見かけたら一言、「がんばって」と声をかけて下さい。



【ボランティア参加数】

	(木)	(金)	(土)	(日)	延べ
95年	62人	50人	137人	106人	355人
96年	74人	69人	226人	195人	569人
97年	109人	95人	297人	171人	672人

今大会は延べ800名以上が見込まれている。★大会では来年度('99)もボランティアを募集する予定です。詳しくは茨城ゴルフ倶楽部(0297-58-1216)までお問い合わせ下さい。

【大会での主なボランティア協力団体】

募集は茨城ゴルフ倶楽部と(株)EMMYを窓口として地元を中心に行なっています。
茨城親交会
伊奈町商工会
常陽銀行
茨城銀行
関東銀行
土浦商工会
土浦信用金庫
茨城県信用金庫
土浦青年会議所
土浦県税事務所
谷田部農協
NTT水海道
キリンビールOB会
キリンビール取手工場
他

チャリティ活動もますます充実

大会ではチャリティ活動にも力を入れています。第1回大会から期間中のプロアマトーナメントなどで集まった収益金を地元の福祉団体に寄付していますが、その総額はすでに1,700万円にもなっています。また93年からはバッティングコンテストなど、チャリティのためのイベントも実施してギャラリーの方々から寄せられたチャリティ金も地元に寄贈しています。

近年、多くのトーナメントが社会貢献活動を行なっていますが、このキリンオープンも地元と密着しつつ、着実なチャリティ活動を行なっています。

身障者の方も安心して会場まで観戦にお越し下さい!

身障者の方にとって、野外での観戦となるゴルフトーナメントへは、やはりなかなか出かけにくいもの。特に車イスの方は、ゴルフ場内をスムーズに移動できるかどうかといった心配もつきものです。

でもキリンオープンは大丈夫。専用席や車イス用トイレを設置するなど受け入れ体制を整えて地元の身障者の方々を観戦にご招待しています。

過去の大会を数字の面から見ると、また違った意味で長い歴史を感じることができる。
茨城GCの東コースで開催された過去10回大会を通算した各種のデータのうち、
ここでは平均スコアなど3項目をピックアップしてみた。

Everywhere, Munsingwear.

Kazuhige Nagashima



サラッとドライ

サマーコットン



MUNSINGWEAR

株式会社デサント お客様相談室 TEL.543-8921 大阪市天王寺区堂ヶ丘1-11-3 TEL.06-774-0359 / TEL.171-8580 東京都豊島区自白1-4-8 TEL.03-5979-6101

ホール	パー	ヤード	バーブレーク率	バーセーブ率	グリーンパーオン率	平均スコア	平均バット
1	5	525	45.7%	92.3%	86.6%	4.61	1.59
2	3	235	5.0	64.9	22.2	3.32	1.86
3	4	466	6.0	65.8	36.5	4.31	1.92
4	4	381	12.4	82.8	62.0	4.07	1.86
5	4	420	9.7	72.9	54.4	4.21	1.90
6	3	186	10.0	78.8	48.9	3.12	1.86
7	4	395	16.1	83.4	58.1	4.02	1.77
8	4	423	8.8	73.3	48.3	4.21	1.88
9	5	518	38.6	91.0	78.9	4.70	1.56
OUT	36	3,549	16.9	78.3	55.1	36.57	1.77
10	4	458	5.2	62.8	29.5	4.36	1.89
11	4	382	16.5	84.7	68.0	4.00	1.79
12	4	389	13.6	79.0	54.1	4.09	1.82
13	3	204	6.2	67.7	32.3	3.29	1.91
14	4	435	8.8	73.4	46.3	4.21	1.85
15	5	545	31.0	89.4	74.3	4.80	1.62
16	4	448	7.3	73.3	40.6	4.21	1.88
17	3	235	5.2	62.4	20.6	3.36	1.85
18	5	518	33.7	87.6	75.9	4.80	1.64
IN	36	3,614	14.2	75.6	49.1	37.11	1.77
TOTAL	72	7,163	15.6	77.0	52.1	73.68	1.77

東コースでの過去10回の大会では、年によって距離は若干変わったもののパーはすべて72で開催されてきたが今年は1番ホールをパー4としてトータルパー71で開催する。過去10回通算のデータの中で、まず平均スコアを見ると4つのパー3ホールの難易度が際立って高く、“難しい”ことがよくわかる。難易度ランクでは17番ホールが18ホール中の第1位タイ、2番ホールが第3位、13番ホールが第5位、そして6番ホールが第10位という順番となっている。

これと全く逆に、パー5ホールは平均スコアもすべてアンダーパーで、難易度では18ホール中の15~18番目で“易しいホール”という結果が出ている。一方、合計10あるパー4ホールは難易度ランクでは第1位タイ(10番ホール)から第14位(11番ホール)と、難しいホールから比較的のバーディーの取り易いホールまで広がっている。

これらの数字を総合すると、この東コースで好結果を出すためにはまずパー5ができるだけ多くのバーディー、イーグルを稼ぎ、パー3ホールでは確実にバーセーブに徹することが最低条件となる。あとはパー4ホールでいくつスコアを伸ばすかで、上位争いに加わることができるのがどうかが決まるところだろう。今年は1番ホールがこれまでの難易度18番目という最も“易しい”パー5から477ヤードのパー4に変更されただけに、一転してパーセーブも難しいホールとなった。スターホールがいきなり難関ホールになることで、

選手が18ホールの攻め方をどのように組み立てていくのか、平均スコアの数字とともに注目されるところだ。

平均スコア以外のバーブレーク率、バーセーブ率、グリーンパーオン率などのデータも平均スコアに準じた数字となっており、これらも1番ホールの数字はパー変更によって大きく変わってくるはずだ。

① 平均スコア (12R以上)

1. 尾崎将司	70.74	(34R)
2. P.シニア	71.00	(23R)
3. D.イシイ	71.15	(26R)
4. 島田幸作	71.15	(13R)
5. G.マーシュ	71.31	(26R)
6. 友利勝良	71.42	(19R)
7. 倉本昌弘	71.78	(32R)
8. 中島常幸	71.80	(25R)
9. R.ギブソン	71.89	(19R)
10. 丸山茂樹	71.92	(13R)

① この大会で挙げた4勝すべてが東コースでの優勝という尾崎将司がただ一人70台でリード。2位には東コースでの95年大会優勝のP.シニアがつけ、3位にはステディゴルフが身上のD.イシイと島田幸作がつける。1983年に東コースのコースレコード61をマークした倉本昌弘は7位、中島常幸、丸山茂樹らもベスト10入りしている。またイシイや5位のG.マーシュ、6位の友利勝良、9位のR.ギブソンは決して飛ばし屋ではないが好数字を残し、東コースは決してロングヒターだけが有利ではないことを証明している。

② グリーンパーオン率 (12R以上)

1. D.イシイ	64.7%	(26R)
2. 奥田靖己	62.8	(13R)
3. S.フレッシュ	61.1	(12R)
4. P.シニア	60.9	(23R)
5. 尾崎将司	60.4	(34R)
6. 湯原信光	60.1	(30R)
7. 高橋勝成	59.7	(31R)
8. 飯合肇	59.4	(22R)
9. R.ギブソン	58.8	(19R)
9. 陳志忠	58.8	(22R)

② のデータも、ロングヒッターよりフェアウェイキープ率の高いショアプレーヤーが確実なパーオンを果たす確率が高い、という結果を示している。上位10人の中で際立つロングヒッターと言えるのは5位の尾崎将司と8位の飯合肇の2人で、他の顔ぶれは決して飛ばし屋ではなく堅実なゴルフが売り物のプレーヤーだ。特に1位、2位のイシイ、奥田の2人は名高いステディプレーヤーであるだけに、まずはフェアウェイキープがパーオンへの最大の条件になるとも言えそうだ。

③ バーブレーク率 (12R以上)

1. 尾崎将司	23.5%	(34R)
2. 丸山茂樹	23.1	(13R)
3. 倉本昌弘	21.5	(32R)
4. 友利勝良	20.8	(19R)
5. 木村政信	19.6	(19R)
6. 中島常幸	19.3	(25R)
7. 渡辺司	19.1	(25R)
8. 小林富士夫	18.9	(15R)
9. 横島由一	18.8	(18R)
10. 中村通	18.6	(31R)

③ このデータは1R18ホールでバーディー以下をマークする割合を示している。分かりやすく言えばいかに多くのバーディー、イーグル、ダブルイーグルを奪うかという意味で、爆発力を表すデータでもある。1位はやはり尾崎将司で、2位以下には丸山、倉本、友利と、波に乗ったら手がつけられないプレーヤーが続く。ちなみに1位の尾崎将司の23.5%という数字は、18ホール中、4ホール以上でバーディーもしくはイーグルを奪っているわけで、まさに平均してハイスコアをマークしているという結果が出ている。これらのデータからも大会の変遷、そして歴史の一部を垣間見ることができる。

脈々と続く46年の変遷

**キリンオープンの前身は
1952年にスタートした読売プロゴルフ選手権。
以来、名称は幾度か変わりながらも大会は
今年で47年目を迎えた。
その輝かしい歴史と伝統に、
今年もまた新たな物語が加えられようとしている。**



大会優勝者の変遷(1952~1976)

● 読売プロ・ゴルフ選手権		
1952 林 由郎	296(72-78-71-75)	程ヶ谷
1953 石井朝夫	307(74-77-76-80)	広野
1954 栗原甲子男	287(75-71-71-70)	相模
1955 林 由郎	290(72-74-72-72)	鷺之台
1956 中村寅吉	295(74-71-74-76)	茨木
1957 小野光一	286(70-72-71-73)	小金井
1958 J.パーク Jr.	289(73-71-73-72)	相模原
1959 島村祐正	295(74-76-74-71)	西宮
1960 橋田 規	293(71-71-75-76)	鷺之台
1961 G.プレイヤー	289(75-72-72-70)	読売バ
● 読売国際オープンゴルフ選手権		
1962 P.トムソン(豪)	278(72-68-64-74)	よみうりP.G.C.
1963 D.サンダース(米)	289(68-77-71-73)	よみうりP.G.C.
1964 降雪のため中止		
1965 F.フィリップス(豪)	288(72-73-74-69)	よみうりC.C.
1966 H.ボイル(英)	286(68-71-71-76)	よみうりC.C.
1967 河野 光隆	282(73-70-64-75)	よみうりC.C.
1968 陳 清波(台)	283(68-75-68-72)	よみうりC.C.
1969 G.ウォルステンホルム(英)	288(71-72-76-69)	よみうりC.C.
1970 D.グラハム(豪)	286(71-71-75-69)	よみうりC.C.
1971 安田 春雄	282(71-66-72-73)	よみうりC.C.
● 総武国際オープン		
1972 謝 敏男(台)	279(71-72-72-64)	総武C.C.
1973 内田 繁	279(70-66-69-74)	総武C.C.
1974 呂 良換(台)	280(71-71-68-70)	中山C.C.
1975 杉原輝雄	282(71-74-69-68)	総武C.C.
1976 B.アルダ(比)	277(69-68-70-70)	総武C.C.



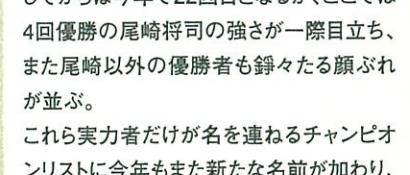
国内ゴルフ界の隆盛とともに トーナメント界発展に寄与

一昨年から衰いも新たにキリンオープンとしてスタートしたこの大会は、その誕生を辿れば1952年の読売プロゴルフ選手権までさかのぼる。まだまだゴルフの試合が少なかった当時、程ヶ谷CCを会場に第1回大会が開催され、その後毎年コースを変えて行なわれてきた。そして大会が第11回を数えようとした1962年、まさにこの年、アジア5カ国を結んでひとつのサーキットにしようとする動きが起こる中、この試合がサーキットの日本大会を引き受け、名称も読売国際オープンゴルフ選手権と衣替えされた。以後、毎年サーキットの最終戦として開催され続け、大会名称は1972年に総武国際オープン、1977年からはここ茨城GCを舞台にダンロップインターナショナルオープン、そしてその後ダンロップオープン、96年からは現在のキリンオープンとなった。

時代を築いた実力者だけが 優勝の栄冠を手にしてきた

別表のように、それぞれの大会を制しているのはその時代を築いた実力者だけということがよくわかる。50年代は林由郎、中村寅吉、小野光一、橋田規という往年の名プレーヤー、60年代に入るとP.トムソン、F.フィリップス、G.マーシュらの豪州勢やアメリカ、イギリスなどの外国勢が勝利を収めている。70年代には現在シニアツアーで活躍中の謝敏男、内田繁、レギュラー、シニア両ツアードプレーヤーする杉原輝雄、安田春雄らが優勝を飾ってきた。会場をこの茨城GCに移してからは今年で22回目となるが、ここでは4回優勝の尾崎将司の強さが一際目立ち、また尾崎以外の優勝者も鋭々たる顔ぶれが並ぶ。

これら実力者だけが名を連ねるチャンピオンリストに今年もまた新たな名前が加わり、歴史の1ページが刻まれる。



栄光を手にした勇者たち

美しく輝くただひとつのチャンピオントrophyは
コースを征服し尽くした者だけが手にしてきた。

百戦練磨の技が冴え B.アルダ優勝	中島常幸独走 逃げ切りで初優勝	青木逃げ切りVで 通算50勝達成	ブレーオフを制し ジャンボ逆転優勝
47才のベテランが3日目首位から逃げ切り、記念すべき初代王者に輝いた。	27才の中島が77年日本プロで勝ち取った公式戦2勝目を大差リードで勝ち取った。	世界の青木が大会11回目にしてようやく優勝カップにその名を刻みこんだ。	4打差を追いついてブレーオフを持ち込み、スパートナーで大会3勝目。
郭吉雄23アンダーの 国内タイ記録で初V	劇的イーグルでネル ソンが倉本をかわす	ジャンボ公約通りのV D.イシイを再逆転	飯合肇、完璧ゴルフで シーズン2勝目
日本ツアー参戦14年目の嬉しい勝利を2打差で獲得優勝で飾った。	16番異例の追い上げをして国内2勝目。	初日から好スタートのジャンボが倉本の驚異的追い上げをしのいで初V。	開幕戦に続いて早くも2勝目をマーク。
"遅咲きプロ"の 石井裕士逃げ切る	ジェイコブス逃げ 切りVで総合優勝	T.ゲール大逆転優勝 ジャンボ2連覇成らず	ジャンボ尾崎、またも 逆転で大会4勝目
オンが誕生、この優勝も逃げ切りだった。	ベラランの接し大逆転を抜け出した。	最終4ホールの接し大逆転で優勝となり、ジャンボを大逆転。	シニアゴルフで鮮やかな逆転劇を披露、シーズン初は通算82勝目となつた。
ジャンボ尾崎1年7ヶ月 ぶりの国内優勝	5打差大逆転で 陳志忠優勝	F.ミノザ大会初の ブレーオフを制す	P.シニア6打差リード で余裕の逃げ切り
外国勢を撃破して、ジャンボがスランプ脱出のきっかけとなる優勝を飾った。	台湾が誇る実力派、陳兄弟の弟だったのは最初に見事な大逆転劇を演じた。	初めてサーキット優勝を花を添えた。	強烈な風の中、落ち着いたプレーで逃げ切り。国内3勝、通算16勝目を達成。
我慢の島田 逃げ切り初V	サバイバルレースを しのいた重信初V	マッカイ混戦を 制して初優勝を飾る	金子柱憲、逆転優勝 でシーズン2勝目
ギーの後3連続バーディーで盛り返した。	我慢のゴルフで5勝目をたぐり寄せた。	最終ホールのアプローチを直接カット。	3打差3位タイからスタートした金子が逆転V、賞金レースを大きくくり下ろした。

特製フィールドクッションで LET'S ENJOY 快適なトーナメント観戦を!



財団法人キリン福祉財団では、キリンオープンゴルフを通じて“愛の支援募金”をお願いしています。

今年は、トーナメント観戦に便利な携帯用クッションを製作し、ギャラリーの方々に配布することにしました（先着制）。

そして、皆様からいただいた善意（チャリティー金）を地元茨城県内の福祉施設（茨城県心身障害児者福祉施設協議会等）に寄贈させていただきます。

チャリティーBOXを設置しておりますので、ご協力をお待ちしております（チャリティ金額は皆様の善意にお任せします）。

財団法人 キリン福祉財団

設立の趣旨

財団法人キリン福祉財団は、キリンビール株式会社の創立75周年（昭和57年2月）ならびに国際障害者年を記念して、キリンビール株式会社の企業活動の基盤である社会への感謝の気持ちを表わし、社会への連帯調和を重んじる経営方針をより明確な形で具現するため、キリンビール株式会社によって設立されたものです。

なお、財団名称は事業分野をより明確に表現するため、平成6年8月に「財団法人キリン記念財団」を「財団法人キリン福祉財団」に改称いたしました。

財団の目的

障害者および老人の福祉向上、ならびに青少年の健全育成等児童の福祉に関する諸活動に対し、援助を行い社会福祉の発展に寄与することを目的としています。

事業の内容

財団の目的を達成するため次の事業を行っています。

1.障害者・老人の福祉関係

(1) 障害者・老人の家族介護者への援助事業
寝たきりの障害者・老人をご家庭で介護している人をご慰労する行事で、全国100余の社会福祉協議会・自治体から推薦された対象者を1泊の慰労旅行、又は日帰りの観劇へご招待

(2) 民間福祉事業功労者表彰・慰労事業
民間福祉事業の第一線で永年事業に従事し、功績をあげられた人を表彰・慰労する行事

(3) 障害者の自立のための支援事業
障害者の自立のため活動している全国自立生活センター協議会（JIL）への援助

(4) ボランティア活動促進のための事業
肢体不自由児療育キャンプにかかわるボランティア活動への援助など

(5) ハンディキャップ購入への援助
各地区社会福祉協議会がその事業活動で使用するハンディキャップ（福祉用車輛）の購入を援助

(6) その他
福祉向上のための先駆的な研究・開発事業への援助

2.青少年の健全育成関係

- (1) 「こどもの国」における行事への援助
キリンカップ少年サッカー大会、キリン賞吹奏楽コンテストの開催および費用の援助
- (2) 「こどもの城」における行事への援助
キリンファミリー劇場、キリンファミリーオペレッタ開催にかかる費用の援助
- (3) 児童福祉文化普及事業への援助
キリン劇あそび、キリンリーダーズシアターの開催への援助
- (4) キリンファミリー賞作品募集・表彰事業
明るく健康な家庭生活をテーマにした作品を募集し、応募作品の中から優秀作品を表彰する事業への援助
- (5) その他
青少年の健全育成に関わる先駆的事業（子育て支援など）

財団の概要

設立年月日 昭和56年7月21日

主務官庁 厚生省

年間助成金額 1億4,000万円（平成8年度）

内訳 障害者・老人福祉	8,500万円
青少年健全育成	5,500万円

財団の役員

- [理事長] 本山 英世（キリンビール株式会社相談役）
 [副理事長] 真鍋 圭作（キリンビール株式会社取締役会長）
 [常務理事] 渡辺 禮司（キリンビール株式会社から派遣・事務局長兼務）
 <五十音順>
 [理事] 穴山 徳夫（福祉機器開発センター理事長）
 片桐 鎮夫（北里研究所病院名誉院長）
 上村 一（恩賜財団 母子愛育会理事長）
 植草 健（キリンビール株式会社顧問）
 熊崎 正夫（血液製剤調査機構理事長）
 小池 欣一（日本社会事業大学理事長）
 畠山 保雄（弁護士）
 [監事] 石井 賢郎（公認会計士）
 安土 正篤（キリンビール株式会社常勤監査役）

財団法人 キリン福祉財団

〒104-8288 東京都中央区新川2丁目10番1号キリン本社ビル内

TEL:03-5540-3522 FAX:03-5540-3525

●お願い

サインをお求めになる場合は、選手がラウンドを終了し、スコアカードを提出した後にお願いします。プレー中、又はスタート前はご遠慮下さい。
 プレー終了後、練習場に向かう途中、又は練習場からクラブハウスに戻る途中なら気軽にサインに応じてください。

